

令和5年 第14回 川口市教育委員会定例会会議録

日 時 令和5年8月30日（水）

午前9時30分

場 所 ワークファンルーム会議室1・2

1 出席者

教育長	井 上 清 之	書記長	秋 葉 知佳子
委員	齋 藤 卓	書記	竹 田 暢 之
委員	宿 谷 岩 男	書記	今 本 敬 幸
委員	中 田 裕 之	書記	渋 谷 美 月
委員	菅 原 京 子		

2 説明のため出席した者

学校教育部長	中 川 猛（専門委員長）
学務課長	寺 田 和 成（議案第99号のみ出席）
指導課長	丸 山 陽 一

以下の者は議案第100号のみ出席

専門委員	吉 見 範 子	指導主事	佐 藤 彰 典
専門委員	岡 田 大 助	指導主事	向 井 剛 生
専門委員	相 樂 雅 彦	指導主事	村 上 裕 一
専門委員	朝 倉 伸 行	指導主事	武 邊 弘 徳
専門委員	萩 原 美 樹	指導主事	譜久村 航
専門委員	三 浦 伸 之	指導主事	富 澤 雅 敏
専門委員	佐 藤 哲 也	指導主事	笠 原 たまき
専門委員	井 上 千 春	指導主事	伊 東 よお子
専門委員	小 川 哲	指導主事	三 宅 穰 世
専門委員	高 宮 明 洋	指導主事	千 葉 悠
専門委員	岡 本 賢 一	指導主事	小 山 泰 昇
		指導主事	大 野 寛 人
		指導主事	中 嶋 康 雄

3 前回会議録の承認

井上教育長 第13回教育委員会定例会会議録については、書記より、各委員に事前配付している。質疑があればお聞かせ願いたい。

- 【質 疑】** (質疑なし)
【承 認】 (全員異議なく承認)

4 教育長報告
なし

5 協議事項
なし

6 議 事

【上 程】

井上教育長 議案第99号「専決処分の承認について（令和6年度当初川口市立高等学校及び幼稚園教職員人事異動方針について）」を上程し説明を求める。

【説 明】

学務課長 (学務課長が資料に基づき説明した。)

【質 疑】 (質疑なし)

【採 決】 (全員異議なく可決)

井上教育長 議案第99号「専決処分の承認について（令和6年度当初川口市立高等学校及び幼稚園教職員人事異動方針について）」を案件のとおり可決する。

【上 程】

井上教育長 議案第100号「令和6年度使用小学校教科用図書の採択について」を上程し、説明を求める。

【説 明】

指導課長 (指導課長が別添資料1に基づき説明した。)

【質疑応答概要】

井上教育長 次に、専門委員長より専門委員会における統括の経過等について報告を求める。

専門委員長 本年度の専門委員会のこれまでの経過について報告する。

5月15日に専門委員会が組織されてから、「川口市立小・中学校使用教科用図書の採択に関する規則」に則り、全3回の専門委員会を行ってきた。

具体的には、規則に定められている調査研究機関である各調査委員会からの調査結果、各学校長からの全ての教科書についての報告を踏まえた上で、さらに情報を収集しながら、保護者のご意見等も参考とし、とりまとめを行った。

その際、学習指導要領の趣旨を生かした各教科書の編集についてと、川口市の児童の実態に即して、学ぶ上で、より「有効・適正」な教科書であるかという2点を中心に、分析・研究をしてきたものである。

井上教育長

それでは、本市の児童の課題を踏まえて、児童にとって学びやすく、教員にとって指導しやすい教科書は何かという観点から、教科ごとに採択していく。

まず、各専門委員に、専門委員会での調査員会や学校からの報告、保護者の意見等に基づき、調査、分析した内容について説明を求め、質疑の上で、協議に入るという形で進めたいと思うが、如何か。

委員

(異議なし)

井上教育長

それでは、教科書の協議に入る。国語・書写の専門委員・事務局の入室を求める。

(国語・書写専門委員、事務局 入室)

専門委員会として、各学校からの報告書並びに調査員からの報告書等の意見を十分汲み取って検討されてきたと思うが、教育委員会としても学習指導要領の趣旨に則り、「児童にとって学びやすく、教員にとって指導しやすい」という観点でより良い教科書を選んでいきたいと考えている。

そこで専門委員・事務局に入室をお願いした。これから、国語の教科書について、専門委員会の調査、分析等を説明いただいた上で、質問をさせていただく。国語の後、引き続き書写について改めて説明をお願いする。

それでは、まず国語から報告をお願いする。

吉見専門委員

国語科においては、言葉を通じた理解や表現及びそこで用いられる言葉そのものを学習対象としている。そのため、言葉による見方・考え方を働かせることが、国語科において育成を目指す資質・能力をよりよく身に付けることにつながる。

そのため調査員会では、本市の児童の実態を踏まえ、言語活動を通して言葉による見方・考え方を働かせることのできる教科書はどれか、また、教員が国語の授業を実践しやすい教科書はどれかという視点で調査・研究を行った。

はじめに、全3社の教科書の特徴や良さについて報告する。

東京書籍は、単元のはじめに学習の流れが示されており、見通しをもって学習に取り組みやすい構成となっている。言葉の力コーナーで、単元の重点とまとめが復習できる仕組みとなっており、学習内容を定着させやすいと言える。また、デジタルノートとして思考ツールを使いながらまとめていく活動がタブレット上でできるようになっており、画像の保存ができることも特徴と言える。

学校調査報告書では、「学習のながれが分かりやすい。」「QRコードの情報」が充実している。」「単元の振り返りの視点が、身に付けさせたい力に特化し

ている。」などの所見があった。

保護者の意見は、特に無かった。

教育出版は、巻頭のコーナーで言葉に注目させ、年間を通して言葉の使い方を意識的に学習できる仕組みとなっている。単元の学習の終わりには、言葉に着目させ、語彙を増やし、定着させる工夫が数多く見られる。全学年が上下巻に分かれているため、巻末の付録が充実しており、発展的な学習に取り組みやすいと言える。また、インターネットと連動して、必要な情報が取り出せる「まなびリンク」が設けられており、学習を深めたり他教科に広げたりすることができる。

学校調査報告書では、「挿絵の色彩や表記が工夫されている。」「情報量が豊富である。」「他教科との関わりが図れるようになっている。」という所見があった。

保護者の意見は、特に無かった。

光村図書は、学習の見通しを持たせる段階から、子どもへの問いが準備されており、言葉に着目した学習が展開できる構成となっている。全学年で学習の流れが一貫しており、系統性も書かれているため、国語の学び方を明確に示していると言える。また例文や吹き出し、インターネットに接続するためのQRコード等が簡潔に表記されているため、子どもたちは紙面上の情報量の多さに惑わされることなく学習に取り組みやすいと言える。

学校調査報告書では、「系統性をもって学習に取り組める工夫が多い。」「児童の視点で学習の見通しを持ちやすい。」「挿絵や例示が分かりやすい。」という所見があった。

保護者の意見は、特に無かった。

以上のように、調査員報告書及び学校調査報告書においては、どの教科書にもそれぞれの特徴と良さが記載されている。「学習指導要領の趣旨」や「本市の児童の実態」、「教員の授業実践のしやすさ」を踏まえ、最も適している教科書を検討した。

井上教育長

ただいまの報告について、質疑を行う。質問はあるか。

齋藤委員

国語科に関する川口市の児童の学力の現状はどのようなものか。

佐藤指導主事

全国及び県の学力・学習状況調査の結果では、調査対象全ての学年において、全国・県平均を上回る結果となった。成果の一方で、「目的に応じて自分の考えを書く力」が課題となっている。また、記述式の問題形式に対する正答率が低くなっている。

宿谷委員

川口市の教員の国語科における授業は、どのような様子か。

佐藤指導主事

国語科では、言葉による見方・考え方を働かせ「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力・人間性等」の3つの資質・能力の育成を目指している。さらに、言語活動を通して、指導事項を指導することが、授業づくりの重要なポイントとなる。そして、教員の授業改善の努力により、

児童の言語活動を充実させた優れた授業実践が増えている。その一方で、授業の中で指導事項を精選することや、指導と評価の一体化について悩む教員もいる。

宿谷委員 言語活動の充実が重要とのことだが、言語活動の充実に関して、優れている教科書はあるか。

佐藤指導主事 調査結果としては、各社とも、単元で身に付けさせたい力が明確に示されており、その力を身に付けさせるための言語活動が順を追って示されている。示し方には各社で異なる工夫が見られる。ここでは、3社で共通する5年生の教材「大造じいさんとがん」を例として示す。

東京書籍の5年生の教科書、178ページをお開きいただきたい。物語のはじめに大まかな学習の流れが記載されており、言語活動の見通しを持たせることを重視している。

教育出版の5年生の教科書、上巻、89ページをお開きいただきたい。物語のはじめに作品の中の特徴的な表現を引用して、児童の興味や関心を高めようとしている。また、106ページの学習過程を説明する部分では、吹き出しを多用し、言語活動が充実するようなヒントを提示している。

光村図書の5年生の教科書、227ページをお開きいただきたい。物語のはじめに児童への問いかけが記載されており、教員の発問の役割と同じように、児童自身が考える活動を重視している。246ページの学習過程を説明する部分でも、まずは学習の見通しをもつための準備として「問いをもとう」のコーナーが記載されており、教員と児童が同じ方向性をもって言語活動に取り組めるようになっている。児童に対して、それぞれの言語活動に問いかけやヒントが多数準備されているため、教員の経験や力量に左右されることなく、言語活動を充実させやすいと言える。

菅原委員 川口市の児童が「知識及び技能」を習得するにあたって、優れた特徴をもつ教科書はどれか。

吉見専門委員 3社ともそれぞれが、優れた特徴をもっている。

東京書籍は、成功例だけではなく、失敗例も積極的に掲載することで、児童に正しい知識を身に付けさせる工夫が充実していた。

教育出版は、他の2社と比較すると、言語に関する学習に多くのページが割かれており、知識の量を重視する傾向が見られた。

光村図書は、教材文とのつながりを重視し、関連する知識や技能について指導する傾向が強く見られた。

菅原委員 続いて、「思考力、判断力、表現力等」に関しては、如何か。

吉見専門委員 各社とも、「思考力、判断力、表現力等」を育成するために、学習の流れや見通しを示す工夫が見られた。中でも、光村図書は、小単元で身に付けた内容を次の単元で実際に活用する流れとなっているものが多く、児童が学びを積み重ねやすいと言える。また、各領域で学習の流れが一貫していて、思考

の順序が明確であるため、本市の児童の課題である「目的に応じて自分の考えを書く力」を段階的に高めるためにも有効であると言える。

菅原委員 「学びに向かう力・人間性等」に関しては、どうか。

吉見専門委員 各社とも国語科で学んだ言葉のもつ良さや、言語能力が日常生活に生きて働いたり、他教科等の学習に生かされたりするよう工夫されていた。特に光村図書については、他教科との関連单元もあり、教科横断的な学びにつなげることのできる配慮がなされていた。

中田委員 国が進めるGIGAスクール構想への適応に関しては、如何か。

吉見専門委員 各社とも紙面上の情報を補足する形で、QRコードを読み取り、教科書会社の準備している情報サイトへ接続することができるように工夫されている。動画や詳しい資料が準備されているため、児童の学びを深めるために有効である。

井上教育長 学校からの報告書では、光村図書の評価が高いが、これは現在、光村図書の教科書を使用していることと関係があるのか。

吉見専門委員 使い慣れた教科書であるという一面もあるが、今回の教科書では、物語の挿絵が変わったり、色彩等の刺激を抑えた紙面構成になったりと、同じ光村図書でも変化が見られる。その中で、「学習の見通しを持たせやすい」、「漢字の単元が丁寧に扱われている」等、今回の教科書の内容そのものに対し、学校調査報告に、多くの肯定的な意見があった。それらを総合して、学校の報告では光村図書の評価が高かったのではないかと捉えている。

井上教育長 他にご質問はあるか。

無いようなので、続けて書写について調査研究の報告をお願いします。

吉見専門委員 書写の学習では、文字を正しく整えて書いたり、書く速さを意識して書いたりできるようにし、書写の学習で身に付けた資質・能力を各教科等の学習や生活の様々な場面で積極的に生かす態度を育成することをねらいとしている。

そのため調査員会では、本市の児童の実態を踏まえ、国語科の内容の一部として、限られた時間の中で、的確に書写のねらいを指導することができる教科書はどれかという視点で調査・研究をした。

はじめに、全3社の教科書の特徴や良さについて報告する。

東京書籍は、書写の学び方、学習準備、姿勢、筆記具の持ち方が全学年共通して同じページにあるため、発達の段階に合わせて書写に対する意識を高めることができると言える。また、擬音語やイラストを用いて始筆や終筆をイメージしやすくしている。

学校調査報告書では、「文字の歴史、平仮名・片仮名のポイント等の資料が多い。」「良い例と悪い例の比較ができる。」「自己評価を行う場面が多い。」などの所見があった。

保護者の意見は、特に無かった。

教育出版は、硬筆でのためし書きから毛筆での実践、まとめ書きといった一連の学習の流れにより、学習スタイルが定着していく構成となっている。また、手本が右側のページ、学習のめあてやポイントの記載が左側のページにあるため、手本として半紙の横に置くことができるようになっている。

学校調査報告書では、「資料が多く、写真やイラストが大きく鮮明である。」「文字を比べて話し合う活動がある。」「単元ごとの説明が丁寧で、学習内容が明確になっている。」などの所見があった。

保護者の意見は、特に無かった。

光村図書は、スタートブックや書写ブックは書写の技能を身に付けるにあたっての基本事項が網羅されていて、いつでも見返すことができるように工夫されている。また、毛筆では、穂先の通り道が分かりやすいように朱墨で示されており、穂先を意識した筆使いができるように工夫されている。

学校調査報告書では、「イラストを効果的に使い、シンプルに見やすくまとめられている。」「アニメーションなどQRコードからの資料が充実している。」「水書用紙が大きく、区切りがあり学習がしやすい。」などの所見があった。

保護者の意見は、特に無かった。

以上のように、調査員報告書及び学校調査報告書においては、どの教科書にもそれぞれの特徴と良さが記載されている。国語科における書写指導のねらいや、本市の児童の実態を踏まえ、最も適している教科書を検討した。

井上教育長

ただいまの報告について、質疑を行う。質問はあるか。

中田委員

書写における川口市の児童の様子はどうか。

佐藤指導主事

低学年で、「適切に運筆する能力」の向上につながるよう水書用筆を使った学習が取り入れられたことで、筆を使って文字を書く経験をもっている児童は増加している。しかし、日常的に使用する筆記具とは言い難いため、依然として毛筆の学習が始まる3年生まで、毛筆や墨に触れる経験の少ない児童が多いと言える。そのため、一つひとつの内容を丁寧に指導する必要がある。一方で、校外の活動等で熱心に習字に取り組んでいる児童も見受けられる。

宿谷委員

書写における川口市の教員の授業の様子はどうか。

佐藤指導主事

書写では専科教員として、同じ教員が複数の学級や学年を指導するような形態をとっている学校が数多くある。このことにより、指導に統一性が生まれ、児童も着実に技能を身に付けている。

また、用具の準備の仕方や運筆の動画、毛筆作品の撮影など、ICTを積極的に活用した授業も数多く見られる。

齋藤委員

書写の指導で、特に重視していることは何か。

佐藤指導主事

書写指導のねらいを達成するために、毛筆と硬筆との関連的な指導を一層工夫することが重視されている。これは、毛筆で文字を正しく整えて書くことが、日常生活における硬筆による書写の能力を高める基礎となるためであ

る。

井上教育長 毛筆と硬筆との関連的な指導を重視しているということだが、各教科書にはどのような特徴があるのか。

吉見専門委員 毛筆の導入である3年生の教科書で3社を比較する。

東京書籍では、見開きの2ページの中で、見つけよう、毛筆でたしかめよう、硬筆で生かそう、学習を振り返ろう、の流れが作られており、児童が何を学ぶかがわかりやすいと言える。見開きのページの中にも鉛筆で直接書き込む箇所が多数用意されている。

教育出版では、各ページのめあてに対して「学習の始めと終わりに書こう」の欄が設けられ、学習のまとめを充実させている。また、教科書に掲載されている情報量が豊富である。

光村図書では、巻頭のスタートブックで、考えよう、たしかめよう、生かそう、の学習の流れが丁寧に説明されている。毛筆のお手本が中心の見開き2ページは、気をつけるポイントを端的に示しているため、毛筆を使う経験が少ない児童にとっても気を付けるべき点が明確で、教員も指導のポイントを絞りやすいと言える。

菅原委員 川口市の実態を踏まえて、その他にどのような観点を重視して調査をしたのか。

吉見専門委員 児童に毛筆を扱う経験が少なく、専科の教員の授業の可能性が高い本市の実態と、学習指導要領で年間30時間程度と示されている授業時間の関わりから、1単位時間で着実に知識及び技能が習得できる教科書であることを重視して調査を進めた。

菅原委員 1単位時間で着実に知識及び技能が身に付くということを重視した、とのことだが、調査結果から、それができる教科書はあるか。

吉見専門委員 3社とも知識や技能を着実に身に付けさせるために、指導内容が系統的に配置されており、児童にわかりやすい擬音語や擬態語を用いたり、親しみやすいキャラクターを登場させたりする工夫が見られた。

実際の書写の授業、特に毛筆の学習では、1単位時間の中に準備や片付けの時間も含まれる。そのため、1単位時間の中で、毛筆と硬筆を頻繁に持ち替えて授業を進めることは児童の集中力を持続させる上でも困難と言える。

このような実態を鑑みると、指導事項や児童が押さえるポイントを厳選し、1単位時間に、毛筆で文字を書くこと、または硬筆で文字を書くことに集中した光村図書が、児童の知識や技能を高めるのに最も適していると言える。

井上教育長 他にご質問はあるか。

無いようなので、以上で質疑を終了し、国語及び書写の教科書を決定していきたいと思う。まず、国語について何か意見はあるか。

齋藤委員 迷ったが、小単元の内容を次の単元に生かすことができ、流れがまとまっていることから、光村図書が良いと思う。

- 中田委員 専門委員の話を読まえ、光村図書が良いと思う。
- 宿谷委員 色彩の刺激を抑えた紙面になっていることや、漢字が丁寧に扱われていることを考えると、光村図書が良いと思う。
- 菅原委員 どの教科についても、子どもたちの資質をどのように育てていくかという点で判断したが、専門委員からの報告を受けて、光村図書はその点が優れていると思う。東京書籍のQRコードが面白いので興味を持ったが、光村図書が良いと思う。
- 井上教育長 次に、書写については如何か。
- 齋藤委員 光村図書を推したいと思う。それぞれ、考えて書いてを繰り返して、自分のものにしていくという構成になっているが、毛筆が書写の基礎であるということを受けて、毛筆に触れる機会が少ない子どもたちにとっては、毛筆に重点を置いた構成になっている光村図書が良いのではないか。
- 中田委員 私も光村図書を薦める。国語の光村図書と、あわせて使いやすいのではないか。
- 宿谷委員 1単位時間で毛筆と硬筆がはっきり分かれている、光村図書が良い。
- 菅原委員 新出漢字や指導の流れなど、国語の教科書と一致していたほうが良いという現場の思いがあるので、書写についても光村図書が良いと考える。
- 井上教育長 これまでの協議の内容や各委員のご意見から、国語については光村図書、書写についても光村図書を採択することに決定してよいか。
- 委員 (異議なし)
- 井上教育長 以上で、国語・書写についての協議を終了する。専門委員と事務局は退出を。
- (国語・書写専門委員、事務局 退室)
- 井上教育長 それでは、社会・地図の専門委員・事務局の入室を求める。
- (社会・地図専門委員、事務局 入室)
- 専門委員会として、各学校からの報告書並びに調査員からの報告書等の意見を十分汲み取って検討されてきたと思うが、教育委員会としても学習指導要領の趣旨に則り、「児童にとって学びやすく、教員にとって指導しやすい」という観点でより良い教科書を選んでいきたいと考えている。
- そこで専門委員・事務局に入室をお願いした。これから、社会の教科書について、専門委員会の調査、分析等を説明いただいた上で、質問をさせていただく。社会の後、引き続き地図について改めて説明をお願いする。
- それでは、まず社会から報告をお願いする。
- 岡田専門委員 社会の教科書は東京書籍、教育出版、日本文教出版の3社である。調査委員会では、社会の学習指導要領の目標に則り、社会的な見方・考え方を働かせながら、課題を追究したり解決したりする学習を進めやすい教科書はどれか、児童に必要な資質・能力が身に付けられるよう構成されている教科書はどれ

か、といった点を中心に調査・研究した。

そこで、調査員会、学校調査報告、保護者の意見も踏まえ、各社の教科書の良さや特徴について、報告する。

まず、東京書籍は、学習の展開が分かりやすいといった評価が多く見られた。学習の展開については、児童の思考の流れを意識した内容構成となっており、知識の習得だけでなく、社会的事象の意味の理解に導く工夫がある。また、各資料がバランスよく配置され、児童に答えを与え過ぎず、それらをヒントに児童が自ら考えて問題解決的な学習ができるよう構成されている。さらに「いかす」の場面や「まなびのポイント」などの工夫も評価されていた。児童が教科書を使って考えやすい、教員が「思考力、判断力、表現力等」を伸ばす指導がしやすいとの評価もあった。

次に、教育出版は、「つかむ」の学習問題をつくる場面で、単元の学習の流れが丁寧に示されるなど、児童が調べる視点をもって学習に取り組みやすい教科書である。また、各ページにある「次につなげよう」では、次時に調べる内容が明記され、見通しをもって活動できる工夫がされていることや、社会に見られる課題の把握や解決に向け、考えるためのヒントが示されている点も評価されていた。全体として丁寧な学習の流れが意識された教科書であると考えられる。

最後に、日本文教出版は、各小単元をまとめる活動において、話し合いの仕方やワークシートの記入方法等が一つひとつ丁寧に示されており、児童が学習問題の結論を導き出せるよう工夫されている。また、社会科の学習で学んだことと自分たちの生活をつなげるために、どの学年でもSDGsに関するページが割り当てられるといった工夫がみられた。全体としては、丁寧な学習の流れとSDGsが大きな特徴として挙げられる教科書である。

井上教育長

ただいまの報告について、質疑を行う。質問はあるか。

中田委員

社会科で身に付けるべき資質・能力とは、どのようなものか。

向井指導主事

まず、「知識及び技能」は、大きく「社会生活についての総合的な理解」と「社会的事象について調べまとめる技能」の2つに分けられる。

続いて、「思考力、判断力、表現力等」については、「社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力」、「社会にみられる課題を把握して、その解決に向けて、学習したことを基に、社会へのかかわり方を選択・判断する力」、「考えたことや選択・判断したことを説明する力、また考えたことや選択・判断したことを基に議論する力」に分けられる。

最後に、「学びに向かう力、人間性等」についてであるが、これは「より良い社会を考え主体的に問題解決しようとする態度」と「多角的な思考や理解を通して涵養される自覚や愛情など」の大きく2つに分けられている。

菅原委員

川口市の児童について考えた時、特にどのような力伸ばしていかなければならないと考えているか。

向井指導主事 「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」のいずれも大切だが、その中でも重視していきたいのは「思考力、判断力、表現力等」の育成である。

予測困難な時代に生きる児童には、社会を多角的に考えたり、どのような社会をつくるのか選択・判断したり、状況に応じて自分の考えを説明したり、議論して新たなものを生みだしていく必要がある。

そのような経験を社会科の授業を通して多く経験させていくためにも、問題解決的な学習を進め、「思考力、判断力、表現力等」を伸ばしていくことが重要ではないかと考える。

齋藤委員 社会科における問題解決的な学習とは、どのように進めていくのか。

向井指導主事 社会科における問題解決的な学習とは、単元などにおいて学習問題を設定し、その問題の解決に向けて諸資料や調査活動などで調べ、社会的事象の特色や相互の関連、意味を考えたり、社会への関わり方を選択・判断したりして表現し、社会生活について理解したり、社会への関心を高めたりする学習のことである。

基本的な流れは、大きく「つかむ」「調べる」「まとめる」の3段階で構成されている。「つかむ」では、学習問題の設定や、学習の予想や計画を立てる活動を行う。「調べる」では、「つかむ」で設定した学習問題を解決するための情報収集や考える活動、「まとめる」では、調べてきたことを活用して、学習問題の答えを考え、表現していく。さらに単元によっては、「いかす」「ひろげる」といった発展的な学習を行うこともある。

教科書によって表記の仕方は異なるが、各社とも問題解決的な学習を意識したつくりとなっている。

齋藤委員 川口市の児童が「問題解決的な学習」を進めていく上で、適している教科書はあるか。

岡田専門委員 教科書によって表記の仕方は異なるが、各社とも問題解決的な学習を意識したつくりとなっている。

中でも、東京書籍では、「学びのポイント」や「学習計画ワークシート」を活用することで、「つかむ」「調べる」「まとめる」という基本的な流れが分かりやすいといった点や、資料のバランスがよく、児童にヒントを与え過ぎず、自ら考えて学習を進められるという点が評価されていた。

また、教育出版でも、「つかむ」「調べる」「まとめる」の段階が丁寧に示されているほか、「次につなげよう」があることで、次時への見通しが立てやすいといった点が評価されていた。

井上教育長 「思考力、判断力、表現力等」を育成していくことが重要との話があったが、この視点から見て優れている教科書はあるか。

岡田専門委員 「思考力、判断力、表現力等」を育成するために、議論の視点を示したり、思考ツールなどを活用する場面を設定したりするなど、各社とも工夫が見ら

れる。

中でも、東京書籍は、授業の中で児童に働かせたい「見方・考え方」や「まとめる」「いかす」の場面での議論の視点などが示されていたこと、また、学び方コーナーで図やキャッチコピーといった様々なまとめ方が示されていたことなど、総合的に「思考力、判断力、表現力等」を育成することができる教科書であると考えている。

井上教育長 社会科はまさに実社会とつながっていくことが大切ではないかと考えられるが、その点について各社はどのように扱っているのか。

岡田専門委員 各社とも社会とつながるという点を意識し、様々な資料を用意している。特にSDGsと関連させて、社会にみられる課題を取り上げている。

中でも日本文教出版は、SDGsのページが充実している。具体的には、多くの単元の後に「未来につなげる～わたしたちのSDGs～」というページを設け、関係のあるSDGsのシールを貼る活動が設定されるなど、SDGsと社会とのつながりについてこだわって作られていると考える。

宿谷委員 これまで使用していた東京書籍の教科書では、川口市の事例が取り上げられていたと思うが、今回の教科書ではどうか。

岡田専門委員 東京書籍が第6学年の政治・国際編の45ページで「川口市の福祉事業」として取り上げているほか、日本文教出版でも第6学年の230、231ページで「安心して、くらし続けられるまちづくりに向けて」として川口市のまちづくりについて取り上げている。

宿谷委員 3社の教科書を見ると、東京書籍は5・6年生でそれぞれ2冊、日本文教出版と教育出版はそれぞれ1冊となっており、学校評価でも意見があがっていたが、この点についてはどのように考えるか。

岡田専門委員 教科書の厚さについては、それぞれメリット、デメリットがあると考えられるため、一概には評価することはできないと考えている。学校報告書からは分冊になることで、「持ち運びやすい」といったプラスに考える意見もあれば、一冊にまとまることで、「まとまっていてわかりやすい、間違える心配がない」と考える意見もあった。

宿谷委員 近年の様々な国際情勢を考えた時、日本の領土や領海についてもしっかりと扱うべきだと考えるが、そのあたりは如何か。

岡田専門委員 領土や領海といった日本の領域については、主に5年生で学習する。各社とも学習指導要領に沿って適切に扱われ、それぞれ写真や地図などを使って紹介している。

中田委員 GIGAスクール端末が導入されたことで、デジタルコンテンツへのアクセスが簡単になったと思うが、その視点では如何か。

岡田専門委員 各社ともQRコードを活用し、GIGAスクール端末などからデジタルコンテンツにアクセスできるようになっている。動画やワークシートなど学習に活用できる資料が揃っており、調べ学習などに生かすことが可能となって

いる。

具体的に東京書籍では、教科書に出ているインタビューに係る実際の動画、まとめるワークシートや「いかす」の場面で活用できる思考ツールなど様々なコンテンツが用意されている。

教育出版では、「社会科ドリル」という都道府県名や人物名などを当てるクイズや、教科書の写真資料を補足する動画など様々なコンテンツが用意されている。

日本文教出版では、楽しみながら都道府県の位置を覚える「すごろくカード」といったアプリや、思考ツールを使ったワークシートなど様々なコンテンツが用意されている。

中田委員 歴史や政治など、様々な解釈が分かれるような事柄があるが、それについてはどのように考えるか。

岡田専門委員 教科書に記載のある社会的事象において様々な意見があることは承知しているが、どの教科書も学習指導要領の求める内容を満たしていると考えている。

井上教育長 他にご質問はあるか。

無いようなので、続けて地図について調査研究の報告をお願いします。

岡田専門委員 地図は東京書籍、帝国書院の2社である。調査員会では、小学校社会の学習指導要領の目標に則り、社会的な見方・考え方を働かせながら、課題を追究したり解決したりする学習を進めやすい地図はどれか、地図を自由自在に活用する力を習得させるのによりふさわしい地図はどれか、調査・研究してきた。

そこで、調査員会、学校調査報告、保護者の意見も踏まえ、各社の教科書の良さや特徴について、報告する。

東京書籍は、地図は勿論のこと、統計資料や写真資料が豊富にあり、各学年での学習内容と地図とを関連させながら情報を読み取ることができる地図である。基本的な技能については、「地図の決まり」や「地図帳の使い方」が漫画などを用いて分かりやすく示されている。また、「マップでジャンプ」では、地図の読み取りを通して社会的事象の特色を考えることができる工夫がある。また、QRコードを活用したデジタルコンテンツでは、137の資料にアクセスすることができ、その中の庄内平野などの土地の様子をドローンで映した映像は地形等の把握に効果的であるといった評価があった。

続いて帝国書院も、地図だけでなく様々な資料が豊富で、各学年での学習内容と地図を関連させながら学習できる内容となっている。「地図マスターへの道」で各学年の学習内容に応じて、地図の見方や、読み取ることができる情報が段階別に示されるなど、地図帳を活用する技能が確実に身に付くような工夫があり、3年生から6年生まで継続的に意欲をもつことができることなどが評価されている。また、江戸時代の東京周辺の地図やSDGsのペ

ージなどの資料が豊富で、資料の読み取りや社会との関わりについての調査活動などに生かすことができる点も高く評価されていた。

デジタルコンテンツについては、631の資料にアクセスができ、その内容も豊富で各学年での学習内容に適したものであるとの評価があった。

井上教育長 ただいまの報告について、質疑を行う。質問はあるか。

中田委員 地図で調べるという意味では、GIGAスクール端末も導入されたことから、グーグルマップのようなものを活用することでも、よいのではないかと感じるが、地図帳を使うメリットを教えてください。

向井指導主事 地図帳はただの地図というだけではなく、様々な情報が載っている教材である。例えば、地名以外にも野菜や果物、自動車といった各地域の代表的な産業がイラストで示されていたり、地形や気候といった統計資料が掲載されていたりするなど、児童が社会的な見方・考え方を生かしながら授業で活用することができる点が地図帳のメリットであると考えている。

また、学習指導要領において、地図帳は「位置や空間的な広がりに着目して社会的事象をとらえる見方・考え方を養うことのできる教材」と位置付けられている。地図帳を問題解決のための教材として活用できるよう、地図の見方や索引の引き方、統計資料の活用の仕方といった地図帳を自由自在に活用できるようにすることが大切となる。

菅原委員 地図帳を活用するための技能を身に付けていくためには、具体的にどのような学習を進めていかなければいけないのか。

岡田専門委員 地図帳を活用するための技能については、地図が給与される3年生から、段階を踏んで身に付けていく。具体的な例を挙げると、地図のきまりや地図記号、凡例や索引、縮尺などの地図帳の見方についての学習は、東京書籍では7ページから14ページ、帝国書院では7ページから20ページにかけて掲載されている。

また、東京書籍では「マップでジャンプ」、帝国書院では「地図マスターへの道」で段階的に地図帳を活用する技能を高めるための工夫を見ることができる。

このようなページを授業の中で継続的に活用し、基礎的な使い方などを指導するとともに、社会の授業の中で事例地を常に地図帳を使って確かめる、他の教科でも日常的に活用する、といったように積極的に活用することで地図帳を活用するための技能が身に付いていくものと考えている。

齋藤委員 地図帳は、他教科ではどのように活用することができるのか。

岡田専門委員 帝国書院の90、91ページ、東京書籍の61、62ページを例とすると、音楽家の出身地や有名な文学作品など様々な情報が掲載されており、他教科でも活用が可能であると考えている。また、学習指導要領では「地図帳は、社会科の学習だけでなく、他の教科等の学習や家庭などにおいても活用することが大切であることを指導するようにする」とあり、地図帳を日常的に活用す

ることが求められている。

齋藤委員

地図帳を選ぶにあたり、重視するポイントはどのような点か。

岡田専門委員

社会科の授業では、地図を見て位置や空間的な広がりに着目して社会的現象を捉えたり、気候や統計などの情報と地図とを関連付けて違いを見つけ出したり、考えをまとめたりする活動を行う。

そのため、まずは様々な情報が見やすくまとめられていたり、抜き出しやすくなっていたりすることが重要だと考える。また、配色やイラスト、写真、グラフなど全体的な見やすさも地図帳を選ぶうえでの重要な視点であると考える。

井上教育長

調査員会報告、学校調査報告ともに、帝国書院を推す声が多かったようだが、それぞれの意見には、何か特徴のようなものはあるのか。

岡田専門委員

調査員からは、帝国書院について資料の配置、色合いなどが全体的に見やすく整理されている点や、江戸時代の東京周辺図や防災マップづくりといった様々な資料がある点、地図帳の使い方などを学ぶ特設ページの工夫などが評価されていた。

学校報告書では、52校中41校が帝国書院をより高く評価している。学校からの意見として、「色分けが読み取りやすい」といった地図の見やすさや読み取りやすさについての評価や、「巻末、QRコードが充実している」といった資料の充実について触れた評価、「地図マスターへの道」など地図帳を活用するための技能を習得する工夫についての評価が多く見られた。

宿谷委員

日本の領土に関しては、地図帳でもしっかりと扱っているか。

岡田専門委員

2社の地図帳とも日本の領土・領海についてしっかりと記載がされており、学習指導要領の内容を十分に満たしている。

井上教育長

他にご質問はあるか。

無いようなので、以上で質疑を終了し、社会及び地図の教科書を決定していきたいと思う。まず、社会について何か意見はあるか。

菅原委員

社会は、学年ごとに良さを感じる教科書があり、非常に悩んだが、結論として、「つかむ」「調べる」「まとめる」がわかりやすい点や、問題解決的な学習につなげられるという点、子どもたちが主体的に学べるのはどれかという点から考え、総合して東京書籍が良いと思う。

宿谷委員

社会においては東京書籍を評価したい。理由としては、学習の展開がわかりやすいこと、全体の各資料のバランスが良く感じられることである。

中田委員

東京書籍は展開が良い。答えを与え過ぎずに、それを検証しながら、思考力・判断力・表現力を伸ばしやすく、教員が指導しやすい教科書であると考える。

齋藤委員

東京書籍は子どもの興味を引き付け、導いていくような記載や、資料の配置、色彩等のバランスが良く、現場の教員も使いやすいのではないかと。

井上教育長

次に、地図については如何か。

- 菅原委員 専門委員の報告を聞く前は、東京書籍も良いのではないかと、帝国書院は逆に情報が多すぎるのではないかと思っていたが、調査員も多くの学校も帝国書院のままが良いという報告を受け、帝国書院が良いと考える。
- 宿谷委員 帝国書院を評価したいと考える。理由としては、各学年の学習内容と地図を連携させながら学習できる内容となっている点と、江戸時代の東京周辺の地図があるなど、様々な資料が豊富な点である。
- 中田委員 資料が豊富で、江戸時代の地図など、様々な情報を広くカバーしている点から、帝国書院が良い。
- 齋藤委員 帝国書院が良いと思う。資料の豊富さは、児童の興味を引くだろう。
- 井上教育長 これまでの協議の内容や各委員のご意見から、社会については東京書籍、地図については帝国書院を採択することに決定してよいか。
- 委員 (異議なし)
- 井上教育長 以上で、社会・地図についての協議を終了する。専門委員と事務局は退出を。
(社会・地図専門委員、事務局 退室)
- 井上教育長 それでは、算数の専門委員・事務局の入室を求める。
(算数専門委員、事務局 入室)
- 専門委員会として、各学校からの報告書並びに調査員からの報告書等の意見を十分汲み取って検討されてきたと思うが、教育委員会としても学習指導要領の趣旨に則り、「児童にとって学びやすく、教員にとって指導しやすい」という観点でより良い教科書を選んでいきたいと考えている。
- そこで専門委員・事務局に入室をお願いした。これから、算数の教科書について、専門委員会の調査、分析等を説明いただいた上で、質問をさせていただく。それでは、報告をお願いします。
- 相楽専門委員 算数においては、数量や図形などについての基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、これらを活用して問題を解決するために必要な数学的な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、数学の良さに気づき、算数と日常生活との関連についての理解を深め、算数を主体的に生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程や結果を評価・改善しようとするなど、数学的に考える資質・能力を育成することが求められている。
- そのため、調査員会では、小学校学習指導要領で求められている資質・能力を、川口市の全ての子どもたちが身に付けられるように構成されている教科書はどれか、また、教員が算数の授業を実践しやすい教科書はどれかという視点で調査・研究をしてきた。
- はじめに、全6社の教科書の特徴や良さについて報告する。
- 東京書籍は、全体的に子どもたちの思考の流れに沿って学びやすい構成となっており、問題解決学習を想定した、主体的・対話的で深い学びが実現で

きるように意識されている。また、基礎的・基本的な知識及び技能を定着させる視点、数学的な見方・考え方を広げる視点など、全体的にバランスがよく、算数が得意な子どもにも苦手な子どもにも取り組みやすい教科書である。

学校調査報告書では、「他者の考えを説明することで、児童が筋道を立てて考察できるように工夫されている。」や「既習を想起し、活用したり関連付けて考えたりすることを促す『同じように考えると』が設定されたことにより、自ら筋道を立てて考える力を養う機会が取れるように作られている。」など、多くの所見があった。

保護者の意見は、特に無かった。

大日本図書は、子どもたちの生活場面から興味・関心を引き出し、数学的な見方・考え方を育成できる内容となっていて、楽しみながら学習できる工夫がされている。また、「ふくろう先生になるほど算数教室」や中学校接続を考えた「数学の世界へ」というコーナーなどが充実し、算数と日常生活との関連、算数と数学の関連にも興味をもちやすい工夫がされている教科書である。

学校調査報告書では、「日常生活で目にするものから疑問を生んでいくページが充実していて良いと感じた。」や「基礎基本の定着を図るため、前の学年までの学習を確かめる有効な手立てが見られる。」という所見があった。

保護者の意見は、特に無かった。

学校図書は、問題解決過程で大切な数学的な見方・考え方が「考え方モンスター」に示されており、既に身に付けた見方・考え方を捉え直す活動が設定されている。また、「はてなを発見」による単元の導入をすることで、子どもが自ら問題を見だしやすくしたり、「算数パトロール隊」によりよくある間違いを確認したりすることができ、主体的な学びを実現しやすい教科書である。

学校調査報告書では、「数学的な見方を広げるヒントを提示する際に、視点によってキャラクターを使い分けている点が、児童が親しみをもって活用できそうだと感じた。」や「日常の事象から疑問を取り上げた導入を展開しており、主体的に取り組めるよう工夫されていた。」という所見があった。

保護者の意見は、特に無かった。

教育出版は、「算数のミカタ」や「つながるミカタ」というコーナーが設定されており、子どもたちが年間を通じて数学的な見方・考え方を意識できるような構成になっている。また、統合的・発展的な考え方を示すキャラクター、どんちゃん・ぐりちゃんが発する言葉により、子どもたちが考える視点をもちやすく工夫されており、主体的・対話的で深い学びを意識できる教科書である。

学校調査報告書では、「はてな？なるほど！だったら！？の問いの連続により、主体的・対話的で深い学びに向かうような手立てが見られる。」や「問

題解決能力、問題追究力に焦点を当てた展開となっている。子ども自身が問いをもち、追究する授業構成がしやすい。」という所見があった。

保護者の意見は、特に無かった。

啓林館は、子どもたちに気付かせたい数学的な見方・考え方などの吹き出しに色付けがされており、授業のポイントを意識できるように視覚化されている。また、ユニバーサルデザインの考え方やSDGsの内容など、現代の社会情勢を反映させた教科書である。

学校調査報告書では、「児童が生活の中で興味・関心のある題材を用いて、意欲的に取り組めるようになっている。」や「数学的な考えを用いる際に補助となる図、テープ図、線分図、数直線図、関係図などが豊富である。」という所見があった。

保護者の意見は、特に無かった。

日本文教出版は、学習で生かせる「見方・考え方」が明示されており、巻末に添付されている「算数で使いたい見方・考え方」は、どの学年でも活用しやすく特徴的である。また、新しい単元に入る前の「次の学習のために」というコーナーでこれから学習する内容に関わる既習事項を確認できるように工夫がされているとともに、単元末の「学習をたしかに」というコーナーでは、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図れるように工夫された教科書である。

学校調査報告書では、「児童が問いを生み出しやすい問題や題材を用いて、学習を振り返り次時の学習への意欲につながるような工夫がある」や「補充問題が習熟段階に応じて充実しているのが良いと感じた。」という所見があった。

保護者の意見は、特に無かった。

以上のように、調査員報告書及び学校調査報告書において、どの教科書にもそれぞれの特徴と良さが記載されている。「学習指導要領の趣旨」や「川口市の子どもたちの実態」、「教員の授業実践のしやすさ」を踏まえ、本市の子どもたちにとって最も適している教科書を検討した。

井上教育長

ただいまの報告について、質疑を行う。質問はあるか。

菅原委員

現在の川口市の児童において、算数で課題となっていることは何か。

村上指導主事

令和4年度の全国及び埼玉県学力・学習状況調査の結果によると、2つの課題が見られた。1つは、図形領域の学習に課題が見られること。もう1つは、思考したことを数学的に表現することである。また、学校訪問や教職員研修の場において、小学校の教員から、「自分の考えを表現することに課題がある。」という話を伺うことが多くあった。このことから、表現力に課題があると認識している。

菅原委員

図形領域の、どのような点に課題があるのか。

村上指導主事

図形概念や性質を基に、平面図形の面積や立体図形の体積、角の大きさ

を求めたり、作図をしたりすることに課題がある。

中田委員 課題として挙げていた2つ目の、数学的に表現する、とはどのようなことか。

村上指導主事 算数科の学習では、言葉による表現とともに、図、数、式、表、グラフといった数学的な表現の方法を用いることに特質がある。このような多様な表現を問題解決に生かしたり、思考の過程や結果を表現して説明したりすることを学ぶ。また、低学年では、具体物や算数ブロックやおはじきなどの半具体物を用いて自分の考えを表現することも重要である。

中田委員 その数学的に表現することに関しては、どのような点に課題があるのか。

村上指導主事 複数の数学的表現を組み合わせて自分の考えを表現することに課題がある。

井上教育長 それではその課題を克服するためには、どのような教科書が望ましいのか。

相樂専門委員 子どもたちの表現力を育成するための視点として、3点ある。

1点目として、小学校入学期における1年生の学習では、言葉による表現と算数ブロックやおはじきなどの半具体物を用いた操作的な表現が大切である。そのため、授業においては、教科書を開いて、その上にブロックなどを置いて学習する機会が多くある。この点から教科書を見ると、東京書籍、大日本図書、啓林館は、他の学年よりも大きいA4判で、薄く開きやすい教科書になっている点特徴的である。また、日本文教出版は、B5判で他の学年と同じ大きさであるが、薄く開きやすい教科書である。これらの教科書は、小学校入学期の1年生にとって、使いやすい教科書であると言える。

2点目として、図形領域では、図形の概念や性質などの習ったことを活用して、面積や体積を求める学習がある。多くの教科書が、言葉による表現とともに、図、数、式がセットで扱われている。特に、東京書籍、大日本図書、日本文教出版は、他者説明が実践できるように工夫されており、表現力を育成しやすい教科書であると言える。

3点目として、キャラクターや子どもたちのイラストの吹き出しに書かれているつぶやきが、子どもたちの思考や表現の手助けになる。それらのつぶやきを途中で止めている場合、それらに続く言葉を考えさせることが、子どもたちの表現力を育成することにつながる。特に、東京書籍、大日本図書、啓林館は、キャラクターや子どもたちのイラストの吹き出しに工夫がある教科書であると言える。

齋藤委員 学校報告書では、どのような報告がなされているのか。

相樂専門委員 学校報告書では、東京書籍、大日本図書、日本文教出版の特徴に関する記述が多くあった。その中からいくつかを紹介する。

東京書籍は、「児童の反応がわかりやすく書いてあり、教員の発問と児童の反応がわかりやすいため、授業しやすいと感じた。」「日常事象、児童の生活との結びつきが考えやすい題材がある。生活に生かしやすい。また、問題の解決方法についてわかりやすく掲載されており、児童が身に付けやすく、

指導に取り入れやすい。」、**「UD教科書体の見やすい文字、豊富なイラストや写真、図など視覚で認識しやすいつくりなどが、子どもたちの学習をしやすくしていた。」**という内容である。

大日本図書は、**「導入の場面設定が日常に即している。また、社会生活の中で算数がどのように活用されているのか、トピックとして紹介されている。」**、**「基礎基本の定着を図るため、前の学年までの学習を確かめる有効な手立てが見られる。」**という内容である。

日本文教出版は、**「既習事項の振り返りや関連付けを大切にし、意欲的に新しい学習に入れるような工夫が見られる。」**、**「シンプルで読みやすいと感じた。書き込みできるページも多い。」**という内容である。

齋藤委員 では、数学的な見方・考え方を育成するためには、どのような教科書が望ましいのか。

相樂専門委員 問題解決学習の過程で、児童が**「問題を解決するときの視点」**に着目できるように工夫された教科書が望ましいと捉えている。東京書籍は、全体的に思考力、判断力、表現力等を育成しやすい構成となっており、特に、単元末の**「つないでいこう算数の目～大切な見方・考え方」**は、児童が数学的な見方・考え方を働かせられるように工夫されている。また、日本文教出版は、**「めあて」**の隣に**「見方・考え方」**が表記されていることで、児童は常に数学的な見方・考え方を意識しながら学習に取り組むことができるように構成されている。全体を通して、児童が数学的な見方・考え方に目を向けやすいと考えられる。巻末にある**「算数で使いたい見方・考え方」**が特徴的である。

宿谷委員 数学的活動を行うためには、どのような教科書が望ましいのか。

相樂専門委員 日常の事象や数学の事象から児童が問題を見だしやすく、数学的活動の楽しさを実感できるよう工夫されている教科書が望ましいと捉えている。東京書籍は、問題設定が日常の生活や社会の出来事から始まるものが多く、数学の事象からも問題を見だしやすく工夫されている。また、**「友だちと学ぼう」**と明示されており、対話的な学びを実践しやすい構成となっている。また、教育出版は、問題を捉え、見だし、解決し、振り返るという学習の流れが分かりやすく書かれている。対話的な学習を通して学び合う学習を実践しやすい構成になっている。

井上教育長 他にご質問はあるか。

無いようなので、以上で算数の質疑を終わり、採択に入る。

それでは、算数の教科書を決定していきたい。何か意見はあるか。

宿谷委員 私は東京書籍を評価する。問題設定が日常の生活や社会の出来事から始まるものが多く、数学の事象からも問題を見だしやすく工夫されている。そして、数学的な見方、考え方を広げる視点などで、全体的にバランスが良く、算数が得意な子、苦手な子どもにも取り組みやすくされているためである。

菅原委員 角度の単元についてQRコードが多く扱われていたので、複数社の教科書

を見たが、東京書籍はわかりやすかった。また、なかなか定着しづらい子だけでなく、できる子にも発展的な問題をやっていこう、という立場からすると、東京書籍のQRコードが充実していると思う。さらに報告の結果を鑑みて、東京書籍が良いと考える。

中田委員 各社、キャラクターなど様々な工夫をしているが、東京書籍が良いと思う。教える側の教員の報告において、子どもの反応がわかりやすく、そのため、授業がしやすいなど、現場での使いやすさが強調されていたためである。

齋藤委員 東京書籍の巻末は、画期的な方法だと思う。これは、算数が得意な子など、様々かと思うが、ここを時間をかけて説明すれば、算数が特に不得手な児童も、算数が好きになるのではないかと、興味を持つのではないかと。また、教員が教えやすいということは、裏を返せば、子どもたちにとっては、学びやすい、わかりやすいということで、東京書籍が良いと思う。

井上教育長 これまでの協議の内容や各委員のご意見から、算数は東京書籍を採択することに決定してよいか。

委員 (異議なし)

井上教育長 以上で、算数についての協議を終了する。専門委員と事務局は退出を。

ここで暫時休憩とする。10分程度。

(算数専門委員、事務局 退室)

井上教育長 再開する。それでは、理科の専門委員・事務局の入室を求める。

(理科専門委員、事務局 入室)

専門委員会として、各学校からの報告書並びに調査員からの報告書等の意見を十分汲み取って検討されてきたと思うが、教育委員会としても学習指導要領の趣旨に則り、「児童にとって学びやすく、教員にとって指導しやすい」という観点でより良い教科書を選んでいきたいと考えている。

そこで専門委員・事務局に入室をお願いした。これから、理科の教科書について、専門委員会の調査、分析等を説明いただいた上で、質問をさせていただく。それでは、報告をお願いします。

朝倉専門委員 理科の教科書は5社からの採択となる。理科は、「自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を育成することを目指す」という学習指導要領の趣旨を踏まえ、調査・研究を行った。

では、各社の教科書について、報告する。

東京書籍は、問題解決の過程を学びのラインや大きな見出しで分かりやすく示し、学びの見通しがもてるつくりとなっている。学習のまとめの後に、学んだことを生かして自分なりに考え、次の学習へつなげる場面を設定し、学習を広げることができるような構成となっている。また、単元導入と単元

末に、同じ問いを考え、比べることで、児童は学びの変容や自分の成長を実感することができるよう工夫されている。

学校の報告書では、「学習内容の押さえない所、児童に注目してほしい所が明確にあらわしている。」「シンプルではあるが、要所をつかみ、学習の流れに沿って問題解決学習が進めやすい構成となっている。」「振り返りの例が載っているので、まとめるのが苦手な児童も参考にすることができる。」などの意見があった。

保護者の意見は、特に無かった。

大日本図書は、紙面で扱う資料やQRコードを使ったコンテンツなど情報量が多い。単元末に、学習内容を確認する問題と学んだことを活用する力を育てる問題が示され知識及び技能の定着を図っている。資料・教材としては、他教科との関連を資料で扱い、教科横断的な学びにつなげ、発展的な内容として上位学年や中学校で学習する内容を多く取り上げている。

学校の報告書では、「単元の冒頭に大きな写真と吹き出しを活用した意見例を載せることで、児童が、自ら問題を見つけやすいよう工夫されていた。」「他教科との関連も詳しく書かれている。」「授業で活用できるコンテンツが豊富であることは有用。」などの意見があった。

保護者の意見は、特に無かった。

学校図書は、育成を目指す資質・能力を『理科モンスター』というキャラクターで示し、楽しみながら学習できるようになっている。学年や単元の見通しと振り返りによって、何を学び、何ができるようになったかを実感できるつくりとなっている。また、学んだことを生かして作る活動を取り上げることで、学びを振り返り、学習したことを活用して説明する問題の設定により学びを深め、確かな学びへつなげるつくりとなっている。

学校の報告書では、「予想、考察の視点が示されている。」「内容が簡単。」「ノートの良い例が表されていてよかった。」「児童向けの振り返りのポイントが明示されているところが良い。」「まとめが良い。」「大事な言葉、用語が記載されており、覚えやすい。」などの意見があった。

保護者の意見は、特に無かった。

教育出版は、イラストが多いつくりとなっていて、学習過程においてキャラクターの発言を多く活用して、見方・考え方を示している。単元の始めに、『学習のつながり』や既習内容を示すことで、既習事項とこれから学ぶことを関連付けて学習ができるつくりとなっている。また、学習面において、学年で主に育成する問題解決の力が、『身に付ける学年の力』として意識されるよう明確に示されている。

学校の報告書では、「安全に関する内容が、裏表紙にまとめて書かれているので、常に安全に関する意識をもつことができるようになっている。」「前学年で学習したことと本学年で学習することが分かりやすく記載されてい

る。」「実験内容が理解しやすい。」などの意見があった。

保護者の意見は、特に無かった。

最後に、啓林館は、学習内容と季節の変化を関連付けたり、理科の見方・考え方を働かせることが日常生活でも役立つ場面を資料として取り扱ったりすることで、児童の学習意欲の向上につなげている。巻末には、情報活用や問題解決の力を育む狙いで、CBTコンテンツが活用できるようになっている。メディアユニバーサルデザインの観点で、配色、デザイン、表現に配慮している。

学校の報告書では、「振り返りの「まとめノート」が分かりやすい。」「マーカーで理科の見方・考え方を意識できるようにしている。」「実験に取り組みやすい。」「まとめの後、『もっと知りたい』の部分があり、次の問題につなげやすい。」などの意見があった。

保護者の意見は、特に無かった。

以上のことから、「学習指導要領の趣旨」を踏まえた調査結果では、どの教科書にもそれぞれの特徴と良さがあった。その上で、調査員会として「本市児童の実態」を鑑み、本市児童にとって一番適している教科書を検討した。

井上教育長

ただいまの報告について、質疑を行う。質問はあるか。

宿谷委員

川口市の児童の理科における実態や課題について教えてほしい。

武邊指導主事

令和4年度に実施された全国学力・学習状況調査の結果から、『思考・判断・表現』は、若干全国平均を上回り、埼玉県平均と同等となっていたが、『知識・技能』は、全国・埼玉県平均を下回る結果となった。不正解の中でも、無解答による割合が全国・埼玉県平均を上回る項目が多い結果も出ている。

また、意識調査では、理科の学習の有用性、学習したことの活用、生活や職業との結びつきが低い値となった。このことを踏まえ、本市の児童の課題として、次の3点が挙げられる。まず、知識・技能の定着に差が見られること。2点目は、問題解決の過程で、必要な思考力・判断力・表現力の育成が十分でないこと、3点目は、生活との結びつきを意識させたり、理科の有用性を高めたりすることだと捉えている。

宿谷委員

その課題を踏まえて、特に、報告書のどのような観点を重視すべきだと考えているか。

武邊指導主事

調査項目の観点のうち、特に次の2つの観点を重視すべきと考えている。1つは『思考力、判断力、表現力等の育成』のうち「問題解決の力を伸ばすこと」である。もう1つは『学びに向かう力、人間性等の涵養』のうち、「学習活動を振り返り、日常生活を見直し、学習内容を深く理解したり、新しい問題を見いだしたりすること」である。

齋藤委員

理科の学習では、自然事象への気付きから始まり、予想や仮説を設定し、観察・実験結果から、考察を行い、結論を導くまでの「問題解決の過程」で授業を進めることが深い学びにつながるが、「問題解決の過程」を工夫して

示している教科書はどれか。

朝倉専門委員 どの会社の教科書も、「問題解決の過程」で授業を進める内容となっている。その中で、問題解決の過程を「学びのライン」や大きな見出しで分かりやすく示しているものが東京書籍、学習の過程にチェック欄を設け、児童が学習活動を確認しやすい教科書が学校図書である。

齋藤委員 これからの変化の激しい社会を生き抜く子どもたちにとって、教員から問題を出してもらって受け身の授業ではなく、子どもたちが自ら学習問題を見だし、主体的に学習に取り組む授業が必要だと思う。問題を見いだす場面に工夫が見られる教科書はどれか。

朝倉専門委員 単元の始めは、どの教科書も生活との結びつきから、問題を見いだす工夫がされている。問題を見いだす場面で、学習内容に関わる大きな写真を使い、視覚的にインパクトがある教科書が大日本図書、「レッツトライ」で写真とともに簡易的な体験や実験などの活動から問題をつかむ場面を設定している教科書が東京書籍である。また、東京書籍には学習のまとめで終わるのではなく、まとめにおいて、「次の問題を考えよう」を示し、更なる問題を見いだす場面を設定し、学びをつなげる工夫も見られる。

井上教育長 子どもたちにとって、理科の実験は好奇心をもって取り組むものの1つだと思う。児童が安全に、見通しをもって実験をするための工夫がされている教科書はどれか。

朝倉専門委員 すべての教科書において、安全についての配慮が必要な箇所には、「危険」または「注意」等のマークを配置し、赤い文字で強調して具体的に記載されている。教育出版は安全に関する内容が裏表紙に記載されており、教科書の中では、「危険」と「注意」の2つに分けて示している。実験の準備物について、チェック項目を付けて記載している教科書が東京書籍、学校図書、教育出版、啓林館である。大日本図書は、教科書に準備物の記載がなく、QRコードで読み込む形式となっている。QRコードを使って実験方法を動画で見ることができる実験が多い教科書は東京書籍、大日本図書となっており、実験の手助けとなると考える。

井上教育長 理科が苦手な子どもたちへ、学習内容を定着させるために工夫がされている教科書はどれか。

朝倉専門委員 どの教科書も、学習内容を定着させるため、単元の最後に終末問題がある。また、東京書籍、教育出版、啓林館は単元のまとめを掲載しており、特に、東京書籍、啓林館は、学習が苦手な児童のサポートになるよう、児童が単元のまとめをノートに作成する際の参考となるような例を示している。また、学校図書は、児童が興味を持てるようキャラクターを効果的に使い、楽しみながら学習できるよう工夫されている。

中田委員 子どもたちが理科の学びを通して、自身の成長を実感できるよう工夫されている教科書はどれか。

- 朝倉専門委員 理科の授業においては、学習の前後で、自身の変容に気付かせることが大切である。東京書籍、教育出版、啓林館は、単元の始めと終わりにあえて同じ問いを設定し、学習の前後で、自身の考えの変容が分かるつくりとなっており、成長を実感できるよう工夫されている。
- 中田委員 子どもたちの学びをサポートするための資料や、QRコードの数はどのようにになっているのか。
- 朝倉専門委員 資料数や情報量が多い教科書が大日本図書、啓林館、教育出版、QRコードの数が多い教科書が大日本図書、学校図書、東京書籍となっている。
- 菅原委員 学校報告では、川口市の児童の実態に合っている教科書として、評価の高いものはどれか。
- 朝倉専門委員 2つの教科書が上がっている。大日本図書と東京書籍である。
- 菅原委員 大日本図書と東京書籍の特徴は、端的にどのような部分か。
- 朝倉専門委員 どちらの教科書も、問題解決の過程を大切に、生活と関連を重視した内容になっている。その上で、大日本図書は、資料やQRコードが豊富で、発展的な学習のための教材数が多いという特徴があり、東京書籍は、情報が整理され、シンプルだからこそ要所をつかんだ見やすい内容となっている。
- 井上教育長 他にご質問はあるか。
- 無いようなので、以上で理科の質疑を終わり、採択に入る。
- それでは、理科の教科書を決定していきたい。何か意見はあるか。
- 齋藤委員 東京書籍を推したい。その理由は、この教科書の特徴に「レッツトライ」というものがある。自己体験や実験の結果など、これを通して視覚にも訴え、子どもたちに興味を持たせやすいのではないかと。さらに東京書籍は、様々な例題や単元ごとにまとめがあり、理解を深めるためのサポートが1番しっかりしている。この2点がポイントとなった。
- 中田委員 本市の児童の学習状況を考えて、東京書籍と大日本図書の2社で迷ったが、東京書籍の方がシンプルだからこそ要旨がつかみやすい点が、本市にはあっているのではないかと感じている。
- 宿谷委員 東京書籍を推薦する。問題解決の過程を学びのラインや、大きな見出しでわかりやすく示している。また学びの見通しが持てるつくりになっている。そして、児童が学びによる自分の成長を実感することができるようになっているためである。
- 菅原委員 他の委員は東京書籍であるが、大日本図書が良いと思う。理由は多々あるが、やはり今まで使い込んできたことや、一つひとつの視点が少し他社とは違うと思うからである。ただ、東京書籍は表紙が工夫されていて、こうしてみたいと思わせるワクワク感がある。難しかったが、大日本図書を使うのが良いと思う。
- 井上教育長 これまでの協議の内容や各委員のご意見から、東京書籍が多いようだが、理科は東京書籍を採択することに決定してよいか。

- 委員 (異議なし)
- 井上教育長 以上で、理科についての協議を終了する。専門委員と事務局は退出を。
(理科専門委員、事務局 退室)
- 井上教育長 それでは、生活の専門委員・事務局の入室を求める。
(生活専門委員、事務局 入室)
- 専門委員会として、各学校からの報告書並びに調査員からの報告書等の意見を十分汲み取って検討されてきたと思うが、教育委員会としても学習指導要領の趣旨に則り、「児童にとって学びやすく、教員にとって指導しやすい」という観点でより良い教科書を選んでいきたいと考えている。
- そこで専門委員・事務局に入室をお願いした。これから、生活の教科書について、専門委員会の調査、分析等を説明いただいた上で、質問をさせていただく。それでは、報告をお願いします。
- 萩原専門委員 生活科の教科書は6社からの採択となる。生活科は、「具体的な活動を通して得た気付きをもとに、振り返り表現する活動によって気付きの質を高める」という現行の学習指導要領が示す学び方に各社の教科書が合致しているかについて、調査研究した。
- では、各社の教科書について、報告する。
- 東京書籍は、児童の作品が豊富に掲載されており、児童に気付かせたいことも吹き出しなどで取り上げられている。生き生きとした表情の写真が多く、単元の始まりは、見開きでレイアウトされており、児童の学ぶ意欲を掻き立てる構成になっている。
- 学校報告書では、「児童の活動写真が多く示されているとともに活動の見通しを持ちやすい」という意見があった。
- 保護者の意見は、特に無かった。
- 大日本図書は、「きもちマーク」を用いて児童が振り返りを行えるようになっている。単元の区切りをあえてはっきりさせないことで、自然な流れで学習が進められるようレイアウトされている。單元ごとに構成を変えていることも特徴的である。
- 学校報告書では、「教科書の中に書き込みができるワークが記載されており、教科書だけで表現活動等に取り組める」という意見があった。
- 保護者の意見は、特に無かった。
- 学校図書は、「学び方図かん」の内容が充実しており、各単元で学ばせたい部分を補う形となっている。単元の始まりは、見開きでレイアウトされており、児童の意欲を高める工夫がされている。また、観察カードが回数を追うごとに文字数が増え、児童の成長に合わせたカードとして参考のできるものである。
- 学校報告書では、『ものしりノート』は児童が興味を引く自然の利用法な

どが多く示され、工夫されている」という意見があった。

保護者の意見は、特に無かった。

教育出版は、「学びのポケット」は、わかりやすいイラストと簡潔な言葉でまとめられている。ワークシートの例示が大きくて見やすく、表現したことから、さらに気付きを深めることのできるようなつぶやきも記載されている。各単元に、イラストを用いた「ヒント」が設けられ、多様な学習活動を展開できるようレイアウトが工夫されている。

学校報告書では、「イラストに出てくる子どもたちが車いすの子や外国の人もいて多様性に触れている。」また、「板書例が教員にとって分かりやすい」という意見があった。

保護者の意見は、特に無かった。

光村図書は、写真が大きく、児童の自然な表情が印象的である。レイアウトに統一感があり、見通しをもって取り組める工夫がされている。吹き出しは児童に考えさせるきっかけとなるよう工夫されている。情報量も適切で、児童が親近感をもつイラストがあり、内容も肯定的であることから、児童の学ぶ意欲を引き出す構成になっている。

学校報告書では、『「こんなものいいかもよ」』『こんなこともあるかもね』など児童が教科書の内容から展開を広げられるような工夫がされているとともに、巻末の辞典が活用しやすい」という意見があった。

保護者の意見は、特に無かった。

啓林館は、各ページの最後に児童に気付かせたいことが記載されており、次時の見通しを持たせている。学研とタイアップした資料が大変充実していることも特徴的である。多様な表現方法が取り上げられており、学習を発展させる参考となるものである。

学校報告書では、「幼保・小の接続期を意識された内容であるとともに、資料や動画が充実している」という意見があった。

保護者の意見は、特に無かった。

以上のことから、「学習指導要領が示す学び方」については、どの教科書も合致しており、それぞれの特徴と良さがあった。その上で、調査員会としては、「本市児童の課題」及び「生活科を教える教員の実態」を鑑み、一番適している教科書を検討した。

井上教育長
齋藤委員

ただいまの報告について、質疑を行う。質問はあるか。

生活科の教科目標である「具体的な活動や体験を通して生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を育成すること」を踏まえて、生活科における川口市の児童の課題は何か。

譜久村指導主事

生活科の教科目標を踏まえた、本市の児童における課題は、学習対象となる、自分自身、身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、思いや願いの実現に向けて粘り強さをもって思考することであると捉えている。

- 齋藤委員 川口市の子どもたちの課題をどのように解決し、育成していくのか。
- 譜久村指導主事 課題解決のために、教科書では「思考力、判断力、表現力等の育成」と「学びに向かう力、人間性等の涵養」の観点を重視する。そのために具体的な活動として主に次の3点を中心に育成に取り組んで参りたいと考えている。1つ目に、児童が幼児教育の中で培ってきた見方・考え方を生かせる具体的な活動や体験の設定、2つ目に、児童の思いや願いを実現する支援、3つ目に、一人ひとりの気付きの質を高めるための具体的な活動や体験と振りかえり・表現する活動の繰り返しである。
- 井上教育長 「見方・考え方を生かせる具体的な活動や体験」は、川口市の子どもたちのどのような課題の解決につながるのか。
- 譜久村指導主事 「見方・考え方を生かせる具体的な活動や体験」については、「思いや願いに向けて粘り強さをもって思考すること」につながる。幼児教育では遊びを通して環境と関わる中で総合的に学び、多様な経験をしている。低学年の教科である生活科では、児童が幼児期の学びや経験を生かせる活動を行うことで、児童が自信をもって活動することができ、そこで得た成功体験が「粘り強さ」につながっていく。
- 宿谷委員 生活科に関する、川口市の教員の授業の実態は如何か。
- 譜久村指導主事 生活科の授業で陥りがちな問題として「活動あって学びなし」が挙げられる。しかし、川口市においては、教員がねらいをもって授業を行う意識が向上していることや、見通しと振り返りのある授業によって、児童は自覚的に学ぶことができている。一方で、教員の設定したねらいのもと、教え込みや考えの押し付けともとれるような授業も散見している。生活科が低学年のみの教科であることから、指導経験が少なく生活科の学び方について理解が不十分である若手の教員もいる。
- 宿谷委員 課題を克服するために重視する、「思考力、判断力、表現力等の育成」の観点からみて、優れている教科書はどの出版社のものか。
- 萩原専門委員 東京書籍と光村図書である。東京書籍は、紙面いっぱいに掲載された大きな写真により、児童の興味関心を引き出し、「やってみたい」「考えてみたい」と思えるような工夫があるとともに、吹き出しに「どうしてなのかな」等、児童自身に考えさせるような工夫がある。光村図書は、児童が活動や体験の中で得た「困り」から、思考を促す活動へひろげている。生活科で得た学びを児童の日常生活へ生かされることを意図した内容である。さらに「振り返ろう」という活動によって、気付きの質を高める場面を作っている。
- 菅原委員 もう1つの課題を克服するために重視する観点である「学びに向かう力、人間性等の涵養」からみて、優れている教科書はどの出版社のものか。
- 萩原専門委員 光村図書である。単元の導入部分のページでは写真が大きく、児童の自然な表情が印象的であり、これから行う活動への期待感が湧くものである。また、イラストや写真についている吹き出しは児童が考えるきっかけとなって

おり児童の主体性を大事にしていることがわかる。また活動の中で想定されることをイラストで触れることにより、児童が前向きに学習に取り組めるようになってきている。

中田委員 光村図書は学校からの報告も「優れている」としている点が多いようだが、光村図書の特筆すべき点は他にもあるか。

萩原専門委員 生活科は振り返り表現する活動によって気付きの質を高めていくが、光村図書は表現方法が多様に示されていることから、指導する教員も参考にしやすいと思われる。また、ページが進むにつれて表現方法が多様になっていることなどから児童の発達段階についても考慮されていることが分かる。そして、一貫して「答え」を示さずに児童の見方・考え方を生かす姿勢があることは本市の教員の授業の実態である「指導経験の少ない若手」にとっても生活科の学び方を示す良き手本となると考える。さらに、別冊の「ひろがるせいかつじてん」は取り外すことができ、校外に持ち出し携帯しやすいものである。児童が活動の中で「知りたい」と感じた時にすぐに参照できることは児童の思いや願いを実現する支援にもつながるものである。

井上教育長 他にご質問はあるか。

無いようなので、以上で生活の質疑を終わり、採択に入る。

それでは、生活の教科書を決定していきたい。何か意見はあるか。

齋藤委員 迷ったが、決め手は「別冊 ひろがるせいかつじてん」である。これは私たち大人が持っても良いほどのもので、完成度が高い。何か困ったときに、これを開けてみると、より解決できる力を養うことができるのではないか。また、教科書の流れとしては、どうしよう、こうしよう、こういうふうにしてみよう、そういうふうにしてみよう、そうするとああなるよね、といった表現が非常に多く、そうすると、ああそうか、こういうことをしてみれば、こうなるのか、と低学年に経験を積ませやすいため、光村図書を推す。

中田委員 迷いはしたが、決定的なこととしては、この教科書の表紙に書いてある、「はじめてがいっぱい」と「はっけんだいすき」。これは、気付きを高めていくことにつながっていく。また、そういった内容で、光村図書は書かれているので、良いと思う。

宿谷委員 光村図書を評価したいと思う。その理由としては、一貫して答えを示さずに、児童の見方・考え方を生かす姿勢がある。本市の教員の实態である、経験の少ない若手の教員にとっても、生活科の学び方を示す良い手本と、この教科書がなると考える。

菅原委員 結論から言うと光村図書。理由としては、保幼小の連携の視点から作られていることと、生活科本来の良さである、ワクワク感、期待感が感じられるのは、光村図書かと思う。

井上教育長 これまでの協議の内容や各委員のご意見から、生活は光村図書を採択することに決定してよいか。

- 委員 (異議なし)
- 井上教育長 以上で、生活についての協議を終了する。専門委員と事務局は退出を。
ここで暫時休憩とする。1時間程度。
(生活専門委員、事務局 退室)
- 井上教育長 再開する。それでは、音楽の専門委員・事務局の入室を求める。
(音楽専門委員、事務局 入室)
- 専門委員会として、各学校からの報告書並びに調査員からの報告書等の意見を十分汲み取って検討されてきたと思うが、教育委員会としても学習指導要領の趣旨に則り、「児童にとって学びやすく、教員にとって指導しやすい」という観点でより良い教科書を選んでいきたいと考えている。
- そこで専門委員・事務局に入室をお願いした。これから、音楽の教科書について、専門委員会の調査、分析等を説明いただいた上で、質問をさせていただく。それでは、報告をお願いする。
- 三浦専門委員 学習指導要領の趣旨、本市の児童の実態と音楽科を指導する教員の実態を踏まえて検討した。音楽科の教科書は、教育出版、教育芸術社の2社からの採択となる。
- 音楽科については、音楽に対する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成することが求められている。そのためには、音楽の授業を通し、歌を歌う、楽器を演奏する、音楽を創る、音楽を聴くなどの活動を主体的に行うことや、児童相互の関わりの中で考え方や方法を共有することにより、学びを深めることが必要不可欠であると考える。
- それでは、各社の教科書について調査の報告を申し上げる。
- 教育出版は、音楽を形作っている要素が意識できるよう、全学年各教材に「音楽のもと」として掲載されている。それらがどのように関わるのか具体的に学び方を示唆する「まなびナビ」により、技能の確実な定着を図るための工夫がなされている。また、歌詞に合ったイラストや写真が効果的に使われており、児童の創造性を発揮させるのに効果的に構成されている。全学年の巻頭に「学習マップ」を設けることで、各題材の学習内容が分かりやすく、見通しがもてるようになっている。また、「まなびリンク」の動画を活用することで、協働的にそしてより深く学ぶことができる構成になっている。我が国及び諸外国の音楽に関する学習の充実という観点からは、わらべうたや各地のお祭りの音楽、お囃子や民謡などが豊富に掲載されている。中でも、低学年から我が国の音楽に親しみをもてるよう「もっとあそぼう」の発展型学習として、長唄を取り扱い、高学年では狂言師からのメッセージがあるなど、伝統と文化を大切にするような工夫がある。また、表記・表現においては、折り込みを使ったワイドな紙面が特徴的である。

学校調査報告書では、「様々な奏法の記載がある。」「音楽に合わせて体を動かす活動、ペア活動などが多くある。」「児童が自ら感じ取り、発想する力を育てるための工夫がされている。」「鑑賞に使用できる言葉の一覧や、巻末のリコーダー運指表等が活用できる。」という所見があった。

保護者の意見は、特に無かった。

教育芸術社は、子どもたちが「何を学ぶか」「何ができるようになるか」をより分かりやすく示すために「見つける」「考える」「歌う・演奏する」などの学習活動が具体的に示されている。そして、それらが、目標を達成できるように段階的に繰り返し設定されており、必要な知識・技能が身に付きやすい構成がなされている。また、低学年では、体を動かして音楽を聴いたり、リズムをとったりできるような活動など、児童の発達段階に応じた楽曲が示されており、児童の思いを膨らませながら、思考したり表現したりできるような工夫が無理なく組み込まれている。そして、常時活動の工夫の中で、言語活動を充実させるため、学習のねらい等を吹き出しで分かりやすく示されている。また、音楽づくりの活動では、どのように工夫すればよいのか見通しをもてるように、様々なイラストでアイデアを例示しており、子どもたちが学習を調整しながら、粘り強く学び、音楽を味わう喜びや楽しさを感じられるようなつくりとなっている。また、我が国の伝統的な音楽を系統的に比較鑑賞することにより、人々の生活や文化と関わって伝承されてきた音楽文化の良さを感じ取って学ぶことができる。さらに、年表の掲載により、他教科との横断的な学びにつながる工夫もある。紙面構成は、白を基調に文字のフォントや色遣いにも工夫がされており、誰にでも見やすいユニバーサルデザインが意識された、すっきりとわかりやすい仕上げになっていると言える。

学校調査報告書では、「活動のポイントがよく見える。」「題材を通してどのような力を身に付けさせたいかが明確である。」「単元や1時間の授業の流れの中での活動のヒントが散りばめられていて、子どもが主体的に取り組める工夫がある。」「振り返りのページにより、見通しをもった指導がしやすく、基礎基本の定着を無理なく図ることができる。」という所見があった。

保護者の意見は、「図や絵が見やすいデザインで、キャラクターの解説や選曲が親しみやすい。」「二次元コードで理解しやすい」というものがあった。

以上のように、調査員報告書及び学校調査報告書においては、どの教科書にもそれぞれの特徴と良さが記載されている。「学習指導要領の趣旨」や「本市の児童の実態」、「教員の授業実践のしやすさ」を踏まえ、最も適している教科書を検討した。

井上教育長
齋藤委員

ただいまの報告について、質疑を行う。質問はあるか。

川口市の音楽科における児童の実態や、教員が授業を行う上での課題はどんなことか。

- 富澤指導主事 川口市の音楽科における児童の実態として、表現や鑑賞に対する興味・関心は、個人差が大きいことが挙げられる。そういった中で教員は「ねらいを明確にもち、学習指導要領の指導事項を確実に指導する」という点をさらに高めていく事が重要であると現場の教員の声や学校訪問の様子から捉えている。
- 齋藤委員 「ねらいを明確にする」という点から、学び方の示し方について、川口市の児童により適した特徴をもつ教科書はどちらか。
- 富澤指導主事 教育芸術社である。活動内容が具体的に示され、学習指導要領の指導事項を確実に指導しやすく幅広い経験ニーズに応えられるからである。教育出版の教科書も、「音楽のもと」つまり音楽を形づくっている要素を、全学年・各教材に取り上げており、「まなびナビ」によりその教材を通して学習を進めるためのねらいや活動等が記載されている。一方で教育芸術社は、例えば、5年生41ページの上の部分にあるように「見つける」「考える」「歌う」といった項目を設け、「学びに向かう力、人間性等」「思考力、判断力、表現力等」「知識及び技能」の資質・能力に対応するように構成され、「何を学ぶか」「何ができるようになるか」を教員にも児童にもより具体的に分かりやすく示すために、非常に詳しく説明されている。
- 中田委員 教科書に基づいて教員が指導していく上で、教育出版の、音楽を形づくる要素とともに学び方が示されている教科書と、教育芸術社の、学び方が具体的に示され、気付きや理解が促されている教科書とでは、本市児童の実態を踏まえると、どちらが使用しやすいと考えられるか。
- 三浦専門委員 どちらにも良い点があると思う。細かく作り込み過ぎず学習のポイントが整理されている教育出版の教科書の場合は児童の実態に合わせ、教員が指導を工夫し、授業を構成できると考えられる。一方で経験の浅い教員や小学校低学年のように、音楽専科ではない教員が指導する場合には、教育芸術社のように学び方が具体的に指示されている方が、いわゆるガイドラインのようなものになり、その流れで授業を行えばよいという目安になることがあると考えられる。
- 中田委員 それぞれの教科書において、ICTの活用に関する特徴は、何かあるか。
- 三浦専門委員 どちらの教科書もICT教育の観点から、より学習を深めるための工夫がなされている。教育芸術社は多くの教材に二次元コードが掲載されており、370以上の音楽・教材資料・奏法動画を使用して学ぶことができる。教育出版では、「まなびリンク」というウェブサイトが利用でき、教科書の内容にリンクした奏法・解説動画・音楽・解説資料などを150本ほど使用できる。
- 井上教育長 教材の特徴が捉えやすい写真も豊富であるように思うが、その点について如何か。
- 三浦専門委員 一例をお示しする。教育芸術社6年生の12・13ページと、教育出版6

年生の10ページと折り込みの11ページをお開きいただきたい。「おぼろ月夜」の掲載ページとなっている。見開きで大きく、歌詞から曲をイメージできる美しい写真と歌詞が掲載されており、その次ページからは、楽譜が載っている。学習を一連の流れで行うことによる、効果的な学びが期待できる。

- 宿谷委員 「我が国や郷土の伝統音楽、諸外国の音楽」はどのように扱われているか。
- 三浦専門委員 両社ともに、特徴があり、工夫がされている。教育出版は、わらべ歌や各地のお祭りの音楽やお囃子、民謡などが全学年にわたって豊富に掲載されている。教育芸術社は、一例として、3年生の60・61ページで祭囃子、4年生の28・29ページでは地域の踊りや舞い、5年生の60・61ページで、日本各地の民謡、6年生の48・49ページでは世界の音楽というように、伝統文化及び諸外国の音楽が学年間で比較鑑賞ができるようになっており、系統的に学べる工夫がされている。
- 菅原委員 ユニバーサルデザインの視点から、どちらの教科書も工夫がされているようだが、本市の児童により適した配慮がなされているのはどちらか。
- 三浦専門委員 両社とも特別支援教育の観点からユニバーサルデザインへの取り組みがなされているが、教育芸術社の色覚特性をもった児童への配慮が、よりなされている点を評価したいと考える。教育出版の教科書も、各項目の帯の色が統一されており、文字や楽譜など太・細文字を使い分けなど、ユニバーサルデザインの見地からも見やすい工夫がなされている。一方で教育芸術社は、歌詞を含め、9割以上UDフォントを使用しており、楽譜・写真などユニバーサルデザインの観点からの工夫がされている。また、特別支援教育の視点に立った配慮として、写真に歌詞を入れる時には、無地の部分に白文字で配置することで、視認性の高い紙面構成になるよう工夫されている。
- 井上教育長 他にご質問はあるか。
- 無いようなので、以上で音楽の質疑を終わり、採択に入る。
- それでは、音楽の教科書を決定していきたい。何か意見はあるか。
- 宿谷委員 教育芸術社を評価したい。その理由としては、年間の構成などで、他教科との横断的なつながりについて工夫があり、また、紙面は白を基調として色使いにも工夫があることから、誰にとっても使いやすいと考えたためである。
- 菅原委員 専門委員や事務局からの報告を踏まえ、音楽は、歌うこと、演奏することだけではなく、音楽のもつ楽しさや背景、国が持つ曲の豊かさなども教えていかなければならない。このことを考えると、系統的な指導がしやすいという点で、教育芸術社ではないか。
- 齋藤委員 迷ったが、まずは子どもたちから見たときに、入ってきやすい構成、色使い、そのようなものが教育芸術社の魅力かと思う。また、音楽で370もの資料を集めるというのも、大変だったと思う。この2点で、私は教育芸術社を推す。
- 中田委員 結論から言うと、教育芸術社。皆さんがおっしゃっているようなことだが、

ユニバーサルデザインの話もあり、やはり見やすい。伝統芸術の観点、QRコードの充実からも、教育芸術社。

井上教育長 これまでの協議の内容や各委員のご意見から、音楽は教育芸術社を採択することに決定してよいか。

委員 (異議なし)

井上教育長 以上で、音楽についての協議を終了する。専門委員と事務局は退出を。
(音楽専門委員、事務局 退室)

井上教育長 それでは、図画工作の専門委員・事務局の入室を求める。
(図画工作専門委員、事務局 入室)

専門委員会として、各学校からの報告書並びに調査員からの報告書等の意見を十分汲み取って検討されてきたと思うが、教育委員会としても学習指導要領の趣旨に則り、「児童にとって学びやすく、教員にとって指導しやすい」という観点でより良い教科書を選んでいきたいと考えている。

そこで専門委員・事務局に入室をお願いした。これから、図画工作の教科書について、専門委員会の調査、分析等を説明いただいた上で、質問をさせていただく。それでは、報告をお願いします。

佐藤専門委員 図画工作については、学習指導要領の趣旨をふまえて、大きく3点について検討してきた。1点目は、児童が主体的に、自分の感覚や行為を通して造形的な見方・考え方について、学習を深めることができること。2点目は、児童が、創造的に発想や構想をしたり、自分の見方や感じ方を深めたりすることができること。3点目は、つくり出す喜びを味わい、学んだことを基に新たな活動や表現へとつなげ、楽しく豊かな生活を創造しようという態度が育まれること。以上3点を踏まえて児童にとってわかりやすく、主体的に学ぶことができ、教員が明確なねらいをもって指導ができる教科書として工夫がされている点を検討した。

それでは、各社の教科書について調査の報告を申し上げる。

開隆堂は、調査員報告書では、年間を通しての学習が分かるように巻頭を工夫していること、各題材の学習の流れが見えやすい構成となっていることから見通しがもちやすいことなどの意見があった。各学年の題材では、発達段階に応じて、友達の作品、日本の地域での活動や伝統文化、SDGs等について多くの視点から造形を提示し、児童の生活や社会へ広がるように工夫されているなど、良さや美しさを感じ取れるような工夫がされていたと意見があった。

学校の報告書では、見開きでまとまっており見通しがもて、発問に主体的に学ばせる意図がみられる、イラストや写真が多く子どもたちが作品のイメージがしやすいとの意見があった。

保護者の意見は、特に無かった。

日本文教出版は、調査員報告書では、開隆堂と同様に学習の流れが明確に見える構成となっており、児童だけでなく教員も学習の見通しをもちやすい教科書であるという意見があげられた。具体的には、「教科書の使い方」、「学習の進め方」等が明確に示され、各題材のページの写真の配置や構成によって「視覚的なわかりやすさ」という点で、よりわかりやすいという意見があった。また、子どもたちの感性に働きかけ、考える力や発想を広げる点においては、様々な表現方法・技能レベルの作品が提示されており、作品数も多く、児童が表現方法を選び、発想を広げられることや、各題材に「表現」と「鑑賞」のポイントが示され、教員も表現と鑑賞を一体的に指導する視点が明確にもてるといったことが優れていた。

学校の報告書でも、見本の作品や製作手順が写真等でわかりやすい、模範作品のバラエティーが豊富という意見があった。

保護者の意見は、特に無かった。

以上のことから、「学習指導要領」の趣旨や要点については、どちらの教科書も合致しており、魅力的な紙面構成やICTの活用により情報を充実させるなどそれぞれの特徴と良さがあった。その上で、調査員会としては、「本市児童の課題」及び「図画工作科を教える教員の実態」を鑑み、一番適している教科書を検討した。

井上教育長
菅原委員

ただいまの報告について、質疑を行う。質問はあるか。

本市の児童に図工を指導するにあたって、どのようなことを重視しているのか。

笠原指導主事

3つある。まず、導入を工夫して、児童の興味・関心を高め、楽しみながら主体的に活動できるようにすること。次に、参考作品を示したり様々な用具や材料を用意したりして、児童の発想やイメージを広げられるようにすること。最後に、材料の活用の仕方、作業の過程を丁寧に示し、図工が得意でも苦手でも楽しんで作品作りができるように工夫して、児童が自分の思いを形に表せることである。

菅原委員

それでは、児童の興味・関心を高め、楽しみながら主体的に活動できるように配慮がされているのは、どちらの教科書か。

佐藤専門委員

どちらも児童の興味・関心を喚起するような工夫がなされている。開隆堂は、各題材に「リード文」と関連する動画が示してしてあることに特徴がある。また、制作の行程が写真入りで示され、見通しをもって活動できる構成がとられている。日本文教出版は、参考作品や図版の写真が色鮮やかで、ページの構成にリズムがあり、児童にとって魅力的で興味を引くよう工夫されている。色彩豊かで見やすいつくり、そして色彩豊かな作品が多いことも特徴的である。

齋藤委員

児童の創作活動に大切な発想やイメージを広げられるような配慮がされているのは、どちらの教科書か。

- 佐藤専門委員 日本文教出版である。様々な表現方法の参考作品が提示されていて、児童が発想を広げたりそれぞれのイメージに合わせて表現方法を選んだりできるように工夫されている。また、色彩豊かな作品の掲載や、QRコードでの作品掲載に技法の紹介など、教員側の目線に合わせて指導しやすく工夫されている。さらに、創造的に発想や構想することができるように、多様な手法や、色や形を捉えられる資料や題材が工夫されている。
- 宿谷委員 材料の活用の仕方や、作業の過程が丁寧に示されているのは、どちらの教科書か。
- 佐藤専門委員 両社とも、丁寧に示されている。開隆堂は、児童の表情と手元の写真が掲載されており、材料や用具の扱い方を紹介している。また各題材のページでは、「リード文」と関連する動画、「学習のめあて」が示され、写真や文字、キャラクターの吹き出し等が配置され、学習の流れが見える工夫がされている。日本文教出版も、手元を大きく写した写真が多く掲載されており、材料や用具の扱い方を分かりやすく紹介している。各題材のページでは、「導入の言葉」と「学習のめあて」が分かりやすく示され、写真や文字、吹き出し等の配置により、やはり学習の流れが見える工夫がされている。
- 宿谷委員 生活の中の色や形に、豊かにかかわる工夫があるのはどちらの教科書か。
- 佐藤専門委員 どちらも生活や社会へと広がる題材になっている。開隆堂は、「つながる造形」のコーナーにて、日本の地域での活動や伝統文化、SDGs等について多くの視点から造形を提示し、児童の生活や社会へと広がるように工夫されている。日本文教出版は、発達段階に合わせて、身の回りにある自然物や人工物の形や色の良さを取り上げ、鑑賞する題材や資料が掲載されている。身近にある材料の色と形を活用して作品を作ることや、やはり鮮やかな作品が、QRコードを含め多数掲載されていることから、生活の中にみられる多くの色や形に意識を広げられるような工夫がなされている。
- 中田委員 学習指導要領の指導事項について、指導しやすいのはどちらの教科書か。
- 佐藤専門委員 開隆堂も日本文教出版も、学習指導要領で掲げられている3つの目標に合わせてめあてを示しており、評価につながるように展開している。評価の視点においても、発想の引き出しの示し方や、多くの技法紹介に作品例なども数多く、評価も見取りやすいものになっている。
- 中田委員 ICTが授業に生かせるよう配慮されているのは、どちらの教科書か。
- 佐藤専門委員 開隆堂である。学校意見では、立体造形を360度の視点から、自分で動かし、側面や裏側を見ること等を評価する意見が見られた。しかし、どちらの教科書会社も、QRコードによる動画紹介が豊富に用意されており、動画を見ればわかるつくりになっている。どちらも、児童にGIGAスクール端末で読み取らせれば、すぐに見せることができる。
- 井上教育長 表現と鑑賞のバランスを考えて構成されているのは、どちらの教科書か。
- 佐藤専門委員 日本文教出版である。鑑賞の題材が充実していて、併せて、表現の題材に

も必ず鑑賞のポイントが示され、表現と鑑賞を一体的に指導できるように工夫されている。

井上教育長 学校からの報告書では、開隆堂を推す声のほうが大きいようである。日本文教出版とそれぞれ、どんな理由が挙げられているのか。

佐藤専門委員 開隆堂は、次のような意見が見られた。「『～できるかな。』という言い回しが、主体的に学ばせる意図が感じられる。」「QRコードを使用した動画や資料が豊富。」「作品のゴールがわかりやすい。」

日本文教出版は、次の様な意見が見られた。「模範作品のバリエーションが豊富。」「道具の使い方が丁寧に示されている。」「見本の作品や作成手順を写真等でわかりやすく示している。」

井上教育長 他にご質問はあるか。

無いようなので、以上で図画工作の質疑を終わり、採択に入る。

それでは、図画工作の教科書を決定していきたい。何か意見はあるか。

齋藤委員 まだ迷っているが、日本文教出版は構図が良い。教科書を開けたときに、印象に残りやすい構図になっていることがわかる。各学年、その世代に応じて、興味を引くような構図になっている。また、QRコードによる資料も多く、色彩のバランスが取れているため、日本文教出版の方が良いと思う。

中田委員 私も迷っている。どちらも良くできているが、学校報告では、開隆堂の方を選ぶ声がある。個人的にも引き込まれるのは、開隆堂。バランスや、様々なものが興味を引き、見やすいと感じるのも開隆堂である。

宿谷委員 開隆堂を評価したい。その理由として、配色が丁寧なことと、ダイナミックな発想。そして、大人から見れば当たり前のことも、子どもたちの目線で、丁寧に解説されている。

菅原委員 どちらも良いというのが本音だが、学校が望んでいる方で良いのではないかと。学校の方から上がってきた、開隆堂を推したいと思う。

井上教育長 これまでの協議の内容や各委員のご意見から、開隆堂を推す声が多いようだが、図画工作は開隆堂を採択することに決定してよいか。

委員 (異議なし)

井上教育長 以上で、図画工作についての協議を終了する。専門委員と事務局は退出を。
(図画工作専門委員、事務局 退室)

井上教育長 それでは、家庭の専門委員・事務局の入室を求める。

(家庭専門委員、事務局 入室)

専門委員会として、各学校からの報告書並びに調査員からの報告書等の意見を十分汲み取って検討されてきたと思うが、教育委員会としても学習指導要領の趣旨に則り、「児童にとって学びやすく、教員にとって指導しやすい」という観点でより良い教科書を選んでいきたいと考えている。

そこで専門委員・事務局に入室をお願いした。これから、家庭の教科書に

について、専門委員会の調査、分析等を説明いただいた上で、質問をさせていただく。それでは、報告をお願いします。

井上専門委員 家庭について、大きく3つの点について検討してきた。

1点目は、生涯の生活のための自立の基礎として必要な知識と技能を身に付け、自らの生活に生かすことができる教科書であるということ、2点目は、生活の中から問題を見だし、課題設定し解決する問題解決的な学習の充実と生活をよりよくしようと工夫することができる教科書であるということ、3点目は、本市の児童が学びやすい教科書、教員にとって指導しやすい教科書であるということである。

では、各社の教科書について報告する。

東京書籍について、調査員会の報告では、学習指導要領の趣旨に沿ってすべての題材が構成されており、題材の導入部分で、小題材ごとにめあてを示し、児童が何を学ぶのか、教員は何を学ばせるのかを確認しながら学習を進められるよう工夫されている。また、児童が自己評価を繰り返しながら知識・技能を習得できるように構成されているという意見があった。題材の導入で、話し合いから問いへ導き、児童の学習意欲を高める工夫や、題材の終末の「振り返ろう」で、評価・改善の場面を設け、学習を実生活に生かすことができる特徴がある。また、家庭科の窓の視点や吹き出しのヒントから、見方・考え方を働かせて学びを深めることができる。長期休みの前後で家庭実践ができる掲載の工夫もあり、児童が学習したことを自らの生活や興味に合わせて選択して取り組むことができる。実習や製作においては、必要な写真や図が見やすく分かりやすいだけでなく、「いつも確かめよう」では実物大の写真が掲載されている。ここには、衛生・安全、食物アレルギー等についてもまとめて掲載されており、繰り返し確認できる。そして、デジタルコンテンツでは、SDGsの詳しいウェブページの掲載があり、児童が自分の関心に応じて調べることができる。また、学習に合わせた思考ツールを取り入れたトライシートやワークシート、動画等があり、個々に学習を進めたり、グループでの話し合いに活用したりすることができるという点において優れている。

学校の報告書では、主に「ユニバーサルデザインの視点で文字の見やすさや写真等の背景色、大きさが良い」という意見や「課題解決に向けた流れが分かりやすく、実習や製作の手順が詳しく掲載されているため学習者の学びを支援する工夫がある」という意見が多くあった。

保護者の意見は、特に無かった。

次に、開隆堂について、調査員会の報告では、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けるため、スモールステップで学ぶことができる構成となっている。調理実習など一連の流れを見開きで横に見やすく分かりやすく提示されているという意見があった。また、実習、製作では、難易度設定が星の数

で示されているので、児童が自分の力に合わせて選択することができる特徴がある。どの題材においても、実生活から課題を見つけられるよう「なぜ」という問いかけから始まり、習得した知識・技能を「生かす・深める」の場面で活用できる構成となっている。また、SDGs 関連の内容が生活事象と結び付けて考えることができるように記載され、1つの題材として設けられている。さらに、伝統文化との関連、消費者教育、防災、アレルギーへの注意喚起など日常生活での課題を示すなど工夫されている。デジタルコンテンツでは、基礎的な技能や実習の動画は、児童が自分で確認しながら進められるよう分かりやすく丁寧に示してあり、動画のスピードも調整できるようになっている点において優れていると考える。

学校の報告書では、主に「中学校への学習のつながりやキャリアインタビューの資料の豊富さやSDGs への関心の高さが見られる」という意見や「実生活へ生かすための様々な方法が掲載されている」という意見が多くあった。

保護者の意見は、特に無かった。

以上、「学習指導要領の趣旨」「子どもたちが学びやすい教科書」や「家庭科を教える教員の実態」といった点を踏まえ、適した教科書について検討した。

井上教育長
宿谷委員

ただいまの報告について、質疑を行う。質問はあるか。

家庭科において、前回の採択の時の教科書の内容と比べ変わった点と、今回の東京書籍と開隆堂との大きな違いを教えてほしい。

井上専門委員

前回と比べ変わった点は、文部科学省におけるGIGAスクール構想に伴うICT端末の活用推進により、両社ともQRコードの内容が充実していることである。実習・製作に関わる映像や資料、ワークシートなど、学習に役立つ資料が豊富に掲載されている。東京書籍は、題材の導入で、話し合いを通して問いに導く工夫や小題材ごとにめあてを示している。見やすい資料や豊富なデジタルコンテンツを活用し、思考を可視化したり、他者と共有したりしながら、学んだことを生活に生かせるよう工夫されている。開隆堂は、「なぜ」から始まる導入とスモールステップで学ぶことができる構成や、製作の難易度設定、多様なデジタルコンテンツから目で見て確かめたりしながら、基礎的・基本的な内容の定着が図られるよう工夫されている。

宿谷委員

家庭科の指導で重視することはどのようなことか。また、調査の観点では何を重視したのか。

井上専門委員

家庭科の目標では、「生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力」の育成を目指している。この目標のもと、生活の自立に必要な知識と技能を身に付け、自らの生活に生かすことができること、日常生活の中から問題を見だし、課題を解決する力を養い、より良い生活の実現に向

けて意欲的に取り組むことができることを重視している。調査の観点では、特に「思考力、判断力、表現力等の育成」「主体的、対話的で深い学び」とし、「深い学び」の鍵となるのが「見方・考え方」である。

宿谷委員 「見方・考え方」を働かせることが、どうして必要なのか。

伊東指導主事 生活の営みに係る見方・考え方は、日常生活における様々な問題を、協力・協働、健康・快適・安全、生活文化の継承、持続可能な社会の構築等の視点で捉え、学習過程で身に付けた力を、生活をよりよくするために生かし、実践しようとする態度を育成する。このような実践的な態度は、日常生活や社会の中で生かさされ、社会を生き抜く力としていくために必要である。

菅原委員 川口市では、どのようなことが教科の課題として挙げられているのか。

伊東指導主事 社会の急激な変化や少子高齢化、生活環境の変化、グローバル化、核家族化などから、児童の生活経験に差がある。そして、外国籍の児童も多く、家庭生活における考え方も多様である。生活経験が一人ひとり異なるので、知識や技能において個人差がある。社会の変化に主体的に対応することができるよう、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着と生活の中で活用しようとする実践的な態度を育むことが喫緊の課題である。

菅原委員 川口市の家庭科を教える教員の状況について教えてほしい。

伊東指導主事 家庭科専科が少ない中、若い教員、経験の浅い教員が家庭科を受け持ったり、臨任の教員が家庭科の授業を行ったりすることが多いのが実情である。

井上教育長 重視している観点で話があった、「思考力、判断力、表現力等の育成」の観点からみて優れている教科書はどちらか。

井上専門委員 東京書籍である。導入場面での写真やイラストから生活での課題を発見することができる。さらに、多岐にわたる資料やキャラクターの吹き出しから、話し合いを通して課題解決し、題材終末では、学びを振り返り評価・改善しながら、今後の実生活に生かしていけるよう工夫がされている。

井上教育長 では、「主体的、対話的で深い学び」の観点からみて、優れている教科書はどちらか。

井上専門委員 東京書籍である。児童が何を学ぶのかを意識しながら学習が進められ、話し合いから問いへ導いたり、学びが深まったりできる構成となっている。また、「家庭科の窓」として生活を見つめる4つの視点や吹き出しのヒントから「深い学び」の鍵となる「見方・考え方」を働かせることができるよう工夫されている。

中田委員 先ほど、QRコードの話があったが、その活用について、どちらの教科書が優れているのか。

井上専門委員 東京書籍、開隆堂の両社ともに優れている。東京書籍は、思考ツールを使った考えの整理を助けるトライシートやSDGsの詳しいウェブページの掲載、動画に字幕が表示できる工夫がされている。開隆堂は、小課題の検討シートが掲載されており、動画コンテンツのスピードが調節できる工夫がさ

れている。動画については、どちらの教科書も、児童の家庭での実践の一助となる。

齋藤委員 学校からの報告は、どちらの教科書が「優れている」としているのか。また、その理由はどのようなことが挙げられているのか。

井上専門委員 学校からの報告を集計すると、東京書籍をあげている学校が多くある。理由として、「写真や資料の充実について」が挙げられる。特に、実習の作業工程が詳しくわかりやすいこと、資料の見やすさや大きさ、発展的な内容の資料や巻末の調理や裁縫に関する技能についての記載が多く見られた。

齋藤委員 資料の見やすさや豊富さが挙げられているが、具体的にどのような資料が子どもたちの学びにつながるのか。

井上専門委員 同じ写真資料が掲載されているので、その部分で具体的に2社を比較しながらご説明する。東京書籍は85ページを、開隆堂は92ページをお開きいただきたい。どちらも朝食を食べる前後でどのような違いがあるかについてサーモグラフィーで表示された資料である。東京書籍の資料の方が、大きく、配色も分かりやすく、子どもたちが見た時に比較しやすくなっている。また、朝食と体温の関係や朝食を食べる頻度と午前中の体調を表したグラフなどが掲載され、資料が豊富である。令和4年度の全国学力・学習状況調査における質問紙調査の「朝食を食べていますか。」のアンケート結果では、川口市は、県よりやや低い結果が出ているため、これらの資料から、朝食を食べる必要性について考えさせることができる。食育の視点からも生活に生かせる学びへとつながる。

井上教育長 他にご質問はあるか。

無いようなので、以上で家庭の質疑を終わり、採択に入る。

それでは、家庭の教科書を決定していきたい。何か意見はあるか。

宿谷委員 児童が何を学ぶのか意識しながら学習を進め、話し合いから学びが深まる点や、体温の変化がサーモグラフィーにより具体的でわかりやすいなどの点から、東京書籍を評価する。

菅原委員 結論から言うと東京書籍。子ども達が大学生になっても持たせたいと思う。事務局も把握されていると思うが、この運針の方法でいいのか、疑問に思う写真が開隆堂の教科書には掲載されている。これでは、指ぬきをどうやって使っているのかわからない。また、私が現場にいるときは、朝食はこうあるべきという固定観念があったが、東京書籍は今の状況も踏まえて、コーンフレークも掲載され幅が広い。このことから東京書籍が良いと考える。

齋藤委員 まだ迷っているが、問いを与え、そして子どもたちに考えさせ、答えに導くという場面が多いと感じた。また、朝食のメニューも、写真がありイメージがしやすい。そういった部分で、開隆堂も、もう少しインパクトがあれば良かった。これら2点を考えて、東京書籍が良いと思う。

中田委員 どちらにしようか迷っていたところ、最後にご説明いただいた、サーモグ

ラフィーのところで、東京書籍にしようと思った。さらに、表紙に「私がつくる みんなでつくる 明日をつくる」とある。この文章から、この教科書をどのように作っているかが、伝わってきて気に入った。

井上教育長 これまでの協議の内容や各委員のご意見から、家庭は東京書籍を採択することに決定してよいか。

委員 (異議なし)

井上教育長 以上で、家庭についての協議を終了する。専門委員と事務局は退出を。
(家庭専門委員、事務局 退室)

井上教育長 それでは、体育（保健）の専門委員・事務局の入室を求める。
(体育（保健）専門委員、事務局 入室)

専門委員会として、各学校からの報告書並びに調査員からの報告書等の意見を十分汲み取って検討されてきたと思うが、教育委員会としても学習指導要領の趣旨に則り、「児童にとって学びやすく、教員にとって指導しやすい」という観点でより良い教科書を選んでいきたいと考えている。

そこで専門委員・事務局に入室をお願いした。これから、体育（保健）の教科書について、専門委員会の調査、分析等を説明いただいた上で、質問をさせていただく。それでは、報告をお願いします。

小川専門委員 体育（保健）については、学習指導要領の趣旨を踏まえ大きく3つの点について検討してきた。1点目は、「学習の流れが明確で、誰もが指導しやすいものとなっているか」2点目は、「実践的な理解につなげるために、指導方法の工夫ができるようになっているか」3点目は、「身近な生活の場面などから自らの課題を見付け、自らの生活に生かしやすくなっているなど、児童の主体的な学びにつながっているか」である。

では、各社の教科書について、調査結果、学校報告書、保護者意見を踏まえて報告する。

東京書籍について、知識として習得すべき語句のフォントが強調されていたり、イラストが大きかったりすることから、基礎的・基本的な内容の定着が図りやすくなっている。1単位時間ごとに4つのステップが示されており、課題解決に向けた道筋が明確であるとともに、ステップごとに段階を踏んで学習できる構成になっている。また、資料が充実していることから、思考力・判断力・表現力の育成につなげやすいつくりとなっている。

大日本図書について、折込カードが特徴的で、学ぶことを隠して授業の導入を行うことで、課題をつかみやすくし、主体的な学びにつなげられる工夫がされている。また、各単元の導入に簡単な「学習ゲーム」が見開き2ページで掲載されており、意欲を喚起できるように工夫されており、1単位時間の学習内容が見開き2ページで構成されているため、毎時間の授業をある程度統一して展開しやすいつくりになっている。

大修館書店について、課題解決に向けた流れが分かりやすく3ステップで示され、概ね1単位時間の学習内容が見開き2ページにまとめられている。また、全ての単元のまとめにデジタルコンテンツによる4択クイズがあり、児童がクイズを通して知識の定着が図れるようになっているとともに、学習の最後には、学習を振り返って自分の考えを記入できる欄が用意されており活用しやすくなっている。

文教社について、「課題をつかむ」「課題解決のための活動」「まとめ」「活用」という流れで構成されており、学習課題に順序性をもたせて学習できるようになっている。また、1単位時間の学習内容が、イラストや写真を中心にまとめられており、関連動画などの資料も充実しており、児童が学習しやすいつくりになっている。

光文書院について、大切な部分が文頭の星マークや太字で示されるなど、基礎的・基本的な知識及び技能が習得しやすいようになっているとともに、毎授業の流れが、自分ごとから始まり、自分ごとに戻る学習の流れになっており、自分の考えを記入できる欄など、実践的に理解させるための工夫がなされている。また、様々な社会状況や生活習慣の変化に応じた課題を重視し、児童の心と体、命を守るための学習に重きをおき、学習指導要領の範囲から一步踏み込んだ発展的内容も取り扱っている。

学研について、1単位時間の学習が、「振り返る」「話し合い」「活用する」という3つのピースを完成させる流れで構成されていることに加え、各章の最後にも「振り返る」「伝える」「生かす」の流れで振り返りが行えるようになっており、学びを生かす視点があったり、記述させたりする箇所が多く、実践的な理解につなげる工夫がなされている。また、学びを広げる「ほけんのはこ」や「はってん」といった発展的な内容の教材も多く用意されており、理解を深める工夫がなされている。

以上のことから、学習指導要領の趣旨や要点をおさえつつ、上記3点を踏まえた調査結果では、どの教科書にもそれぞれの特徴と良さがあった。その上で、調査員会としては、「本市児童の実態と特色」及び「本市保健授業の実態と課題」を鑑み、本市教員並びに児童にとって一番適している教科書を検討した。

井上教育長
菅原委員

ただいまの報告について、質疑を行う。質問はあるか。

様々な教科において、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」が求められているが、そのような授業改善を行うために大切な保健学習のポイントは何か。

三宅指導主事

ポイントは2点である。1点目は、児童が身近な生活における学習課題を見付け、それらを解決する学習過程を通して学ばせる課題解決学習を行うことである。そのためには、主体的な学びや対話的な学び、深い学びを促すとともに、それらの学びを相互に関連を図りながら、習得・活用・探究という

学びの過程の中で「見方・考え方」を働かせられるようにすることが必要である。2点目は、指導方法の工夫を行うことである。保健の学習では、身近な生活における健康・安全に関する基礎的・基本的な内容を実践的に理解させることが重要である。そのためには、話合いや思考が深まる発問の工夫、課題の解決的な活動や発表、実習、実験などといった指導方法の工夫を行い、単に知識を記憶としてとどめるのではなく、自分の目や耳で感じさせ、生活経験と関連付けながら具体的に理解させることが必要である。

宿谷委員

現在、川口市の保健学習の実態や課題はどのような点か。

三宅指導主事

本市の実態と課題を、3点申し上げる。

1点目は、若い教員が多く、体育を専門としている教員ばかりが保健学習を指導しているわけではないという点である。そのため、教員によって指導内容の体系化が十分でなく、課題が明確でないなど、知識と生活とを結びつけた理解が十分深まっていない授業実践がみられることである。

2点目は、教員主導による授業展開が多く、実践的な理解につなげる指導方法、学習活動に課題が見られるという点である。このことから、児童が学習内容に関心をもつことができるような工夫や具体的な体験を伴う学習を取り入れるなどの工夫が必要である。

3点目は、保健の授業時間数が限られており、良い授業実践を見る機会が少ないために児童が主体的に学ぶ場面がまだまだ少ないという点である。このことから、保健授業における効果的な学習活動を積極的に取り入れるなどの指導方法の工夫が必要である。

井上教育長

今あげられた実態や課題の解決に向けて、また「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」を推進するために、教科書において重視すべきことはどんな点か。

小川専門委員

教科書において重視すべき点として、次の3点が挙げられる。

1点目。若い教員が多く、体育を専門としている教員ばかりではないという実態についてだが、教科書を用いて課題解決学習を行えるよう、自らの生活の振り返りや生活に生かしていくことも含めて課題や学習の流れが明確で分かりやすく、誰もが授業を進めやすいことが求められる。

2点目。実践的な理解につなげる指導方法、学習活動の工夫という課題についてだが、このことを解決するには、身近な日常生活の体験や事例などを題材にした話合い、ロールプレイング、けがの手当などの実習、実験などを取り入れられるような構成であり、実践的な理解につながるようなつくりの教科書であることが求められる。

3点目。児童が主体的に学ぶ場面が少ないという実態についてだが、このことを解決するには、児童が保健の学習内容に関心をもつことができるような工夫や保健を学習する必要性を感じるような構成の工夫、そして現代的課題についても触れられるような工夫が教科書に必要だと考え

る。

齋藤委員 教科書として重視すべき1点目「課題解決学習」について、特に優れているといえる教科書はどれか。

小川専門委員 どの教科書も課題解決の流れが明確で分かりやすく、誰もが授業を進めやすいように工夫されている。なかでも、次の4社には顕著な特徴がある。

東京書籍は、1単位時間ごとに4つのステップが示されており、課題解決に向けた道筋が明確である。また、1単位時間の学習内容が、導入1ページ、学習内容見開き2ページ、まとめ1ページの4ページで構成されており、学習を進めやすいつくりとなっている。

光文書院は、「生活を振り返る」「課題をつかむ」「課題解決のための活動」「まとめ」「活用」の5段階で構成され、1単位時間の学習内容が見開き2ページにまとめられ、見直しをもって学習できるようになっている。

学研は、1単位時間の学習が、「振り返る」「話し合い」「活用する」という3つのピースで完成する流れで構成されており、各章の最後には、振り返りがしやすいつくりになっている。

大修館書店は、「課題をつかむ」「課題解決のための活動」「まとめ」というシンプルな3ステップで示され、概ね1単位時間の学習内容が見開き2ページにまとめられており、見直しをもって学習が進めやすくなっている。

齋藤委員 教科書として重視すべき2点目の「指導方法の工夫」について、特に優れているといえる教科書はどれか。

小川専門委員 指導方法の工夫が図られている特に優れた教科書としては、東京書籍、光文書院、大修館書店があげられる。

東京書籍の5、6年生68ページをご覧いただきたい。QRコードを読み込むことで、ロールプレイングができる動画教材や16ページや17ページのように実習の理解につながる動画資料が用意され、実践的な理解につながるよう工夫されている。

光文書院の5、6年生12ページ、14ページをご覧いただきたい。それぞれのページに動画・資料のQRコードが掲載されている。また、15ページ、23ページ、33ページのように、「スクールカウンセラー」や「警察官」「学校医」などの専門家による解説の記載が多く、実践的な理解につながるよう工夫されている。

大修館書店の5、6年生16ページから21ページをご覧いただきたい。「心の健康」では「呼吸法」と「体ほぐしの運動」の実習とに分けて構成されており、技能の実習を重視した構成になっているとともに、QRコードを読み取ることで呼吸法などの動画資料を通して理解を深められるように工夫されている。

齋藤委員 教科書として重視すべき3点目の「児童の主体的な学び」について、特に優れているといえる教科書はどれか。

小川専門委員 児童が保健の学習に意欲的に取り組むことができるようになっている点において、特に優れた教科書としては、光文書院、東京書籍があげられる。

光文書院の5、6年生7ページをご覧いただきたい。児童が学習内容を身近に感じられるようなストーリーをマンガ形式で表現し、自分ごととして関心がもてるようになっている。また、自分の生活を振り返ることで課題をつかませ、最後は自分の生活に生かすように、自分事として考えられるような工夫がされている。

東京書籍の5、6年生27ページをご覧いただきたい。身近な生活について振り返ることができるように、イラストや写真を見開きの右側の1ページから始まる構成とし、課題を見付けさせてから、次のページの学習課題を確認できるよう工夫されている。

また、どの教科書にも現代的課題への対応についても学習できるよう、積極的に取り入れている。中でも学研では、「思春期の悩み」や「いじめについて」考えることができるように資料を充実させている。光文書院では、児童の心と体、命を守るための学習については、学習指導要領の範囲から一歩踏み込んだ発展的な内容も取り扱っている。ネットトラブルを防ぐ資料など、発展的内容の教材数を一番多く取り扱っている教科書は、大修館書店となっている。

中田委員 今回の教科書では、子どもたちの理解をより深めるために各社QRコードや表、グラフの活用が多くあるように感じたが、これらの各社の掲載状況はどうなっているのか。

小川専門委員 QRコードの数は、東京書籍は94個、大日本図書は40個、大修館書店は62個、文教社は32個、光文書院は41個、学研は40個となっている。また、表やグラフの数は、東京書籍は37個、大日本図書は24個、大修館書店は26個、文教社は21個、光文書院は29個、学研は20個である。

中田委員 これまでの報告から光文書院や東京書籍が特に川口市の児童に適しているように思うが、学校報告書では、どのような意見があるのか。

小川専門委員 学校報告書では、東京書籍を評価する意見が多くあげられており、いくつか紹介する。「タブレットでQRコードを読み取り、個別最適な学びにつながる工夫がされている。」「資料やコラムが充実している。」「1時間の授業の流れが明確であるため、児童にとっても教員にとっても使いやすい。」「各単元の学習内容が明確に記載され、振り返る場面も充実していることから学びへの関心や学習の定着が図れる。」「デジタルコンテンツが充実しており、課題解決に向けた資料として活用しやすい。」などである。

井上教育長 他にご質問はあるか。

無いようなので、以上で体育（保健）の質疑を終わり、採択に入る。

それでは、体育（保健）の教科書を決定していきたい。何か意見はあるか。

齋藤委員 東京書籍。視覚に入ってきてやすい配列、ポイントはしっかり押さえている

- こと、写真やイラストの色合いも興味を持てるような配置になっている。多岐にわたる教科であるが、構成が優れており、東京書籍を推したいと思う。
- 中田委員 東京書籍と光文書院のどちらかで迷っていたが、学校報告を踏まえ、東京書籍を推薦したいと思う。
- 宿谷委員 東京書籍を評価したいと思う。実習に対して、動画資料等が、実践的な理解につながるよう工夫されている。また、1時間の授業の内容が明確であるため、児童にとっても教員にとっても使いやすい教科書である。さらに、各課題の学習内容が明確に記載され、振り返る場面が充実していることから、学びへの関心や、学習の定着が図れると思う。
- 菅原委員 総合的に考えて、東京書籍が良いと思う。理由としては、4つのステップから学習を進めること。主体的・対話的で深い学びをする上で、課題解決学習という話があったが、それに向けた道筋が非常に明確であるという観点から、東京書籍が良いと考えた。
- 井上教育長 これまでの協議の内容や各委員のご意見から、体育（保健）は東京書籍を採択することに決定してよいか。
- 委員 (異議なし)
- 井上教育長 以上で、体育（保健）についての協議を終了する。専門委員と事務局は退出を。
- ここで暫時休憩とする。10分程度。
(体育（保健）専門委員、事務局 退室)
- 井上教育長 再開する。それでは、外国語の専門委員・事務局の入室を求める。
(外国語専門委員、事務局 入室)
- 専門委員会として、各学校からの報告書並びに調査員からの報告書等の意見を十分汲み取って検討されてきたと思うが、教育委員会としても学習指導要領の趣旨に則り、「児童にとって学びやすく、教員にとって指導しやすい」という観点でより良い教科書を選んでいきたいと考えている。
- そこで専門委員・事務局に入室をお願いした。これから、外国語の教科書について、専門委員会の調査、分析等を説明いただいた上で、質問をさせていただきます。それでは、報告をお願いします。
- 高宮専門委員 外国語では、小学校学習指導要領 外国語活動・外国語で協調している「コミュニケーションの目的や場面、状況を明確にした言語活動」をどのように設定しているかについて、特に注視して、調査研究した。また、児童の端末に導入されているデジタル教科書についても調査を行い、児童にとって使いやすく、どのような学習効果を高める工夫がされているかについて研究した。
- では、各社の教科書について、報告する。
- 東京書籍について、単元全体を通して、教科書に書き入れる活動が多く、語彙や表現などの知識や理解の定着を促すことができる。また、デジタル教

科書では、世界遺産を360度方向から見られるコンテンツがあり、児童に実物をイメージさせやすい。

学校の報告書では、アルファベットの習得が丁寧に行える工夫がなされているなど、全体的に書く力が身に付く構成となっているという意見があった。

開隆堂について、文字による情報が豊富で、必要な言語材料や活動内容等の説明が詳しく示されており、1時間ごとの指導の流れが教科書から読み取りやすくなっている。デジタル教科書には、豊富な学習コンテンツが用意されており、学びの充実が図られている。

学校の報告書でも、学習の過程が段階を追って示されていたり、ゴールまでの時数が標記されたりしているなど、単元の流れがつかみやすい点が評価されている。

三省堂について、各単元は3段階で構成され、初めに「概要をつかみ」、次に「語句や表現に慣れ親しみ」、最後に「目的や場面・状況を考えて表現できる」よう工夫されており、学んだ語句や表現を繰り返し使うことができる。デジタル教科書には、ペアワークの活動例があり、児童の助けとなる。

学校の報告書では、児童が学習段階や目標を掴みやすい工夫や、コミュニケーション能力を向上させる活動が充実しているという意見があった。

教育出版について、どの単元も「Final Activity」に向けてスモールステップで積み上げていく構成となっている。また、豊富なイラストを基に、児童に気付きを促す工夫がある。デジタル教科書には、自分の発話した音声を録音する機能があり、技能の習得に効果的である。

学校からも、スモールステップで学習できる良さと、各ステップの取り組みやすさを評価する声があった。

光村図書について、各単元は、2年間を通した一貫性のあるストーリーから成り、学校生活を舞台とした実際のコミュニケーションの場面の中で展開される言語活動を通して、必要な知識・技能を習得し、思考・判断・表現する力を身に付けていく構成である。ストーリーは、児童と同年代の個性豊かなキャラクターによって展開されるため、児童が共感をしやすく、また、場面や状況にあった自然な英語の力を身に付けるのに適している。その他、異文化や国際理解の視点が特徴的で、英語に留まらない「外国語」という観点にも工夫がみられる。デジタル教科書は、動画の速度調整幅が広く、児童の習得状況に応じた対応が可能である。

学校からも、良く練られた年間を通したストーリーが英語による概要理解の助けになっている点や、その展開を受けて構成されたリスニング問題の設定により、場面・状況に応じた英語表現を児童が捉えやすくなっている点などが評価されていた。また、活動における場面設定が、児童が話したいと感じるものとなっていることも、挙げられていた。

啓林館について、8つの単元は学期ごとに大きく3つに分けられ、各学期

の終わりにまとめができる構成となっており、学期ごとの学習の見通しがもちやすい。デジタル教科書では、学習の状況を確認する進捗管理機能がある。

学校の意見では、イラストと問題文のバランスがよく、音声教材の量も適切で、児童が興味関心をもってすすめられる内容となっているという意見があった。

以上のことから、「学習指導要領の趣旨」を踏まえた調査結果では、どの教科書にもそれぞれの特徴と良さがあった。その上で、調査員会としては、「本市児童の実態と特色」及び「中学校との接続」を鑑み、本市児童にとって一番適している教科書を検討した。

井上教育長
齋藤委員

ただいまの報告について、質疑を行う。質問はあるか。

3・4年生の外国語活動と、教科書を使用する5・6年生の外国語科との違いや、ポイントとなる点はどこか。

千葉指導主事

3点ある。1点目。3・4年生は聞くこと、話すことの音声中心の指導。5・6年生はこれらに加えて、読むこと、書くことの文字指導も行う。「読む・書く」に関しては、音声で十分に慣れ親しんだ後、なぞり書きをしたり、写して書いたりする程度を扱う。なお、教科書を使用する学年は、高学年の5・6年生のみである。

2点目。学習指導要領で強調しているのは、「英語を使う目的や場面・状況」を大切にすることである。どのような場面で、どのような目的のもとで使う表現かを、実際のやり取りを通じて体験し、理解をさせることを重視している。

3点目。1回の授業で定着を目指すのではなく、様々な語彙や表現を、何度も繰り返し使って慣れ親しませることを重視している。

宿谷委員

現在の川口市の児童の外国語科における実態と課題はどのような点か。

千葉指導主事

本市小学校の実態と課題は次のとおりで、5点ある。

1点目。ALTの人数が限られているため、担任が一人で授業を進める時間が多い。このことから、担任の力量によって児童の学びに差が生じている。

2点目。児童の学習動機や習熟に差が生じている。そのため、教材を使用する際は、扱う順序、導入・活動の展開等、指導者の創意工夫が必要である。また、言語活動を充実させるため、コミュニケーションを行う目的・場面・状況の設定が明確でなければならない。

3点目。3・4年生の外国語活動で行ってきた英語に慣れ親しむ活動が抜けきらず、5・6年生になっても、活動をすること自体が目的となっている傾向がある。単元全体でのねらいの明確化、そのねらいに迫るための活動の精選、第二言語習得の流れに沿った指導を行うという視点が必要である。

4点目。音声や文字指導の点において中学校への接続が十分ではない。小中の指導を連結させ、系統的な指導法を実践する必要がある。

5点目。本市は外国籍の児童が多く在籍しているため、外国語科の授業を

通して、異文化理解について多角的な視点から考えを深め、相互理解につなげる必要がある。

中田委員 今説明があった課題を解決するために重要となる観点は何か。

高宮専門委員 教科書として重視すべき点は、次の5点であると考ええる。

1点目。担任が一人で授業を展開することが多い実態についてであるが、これは、ALTがいない中でも授業を進められるよう、授業展開がイメージしやすい紙面構成であることが求められる。加えて、学習活動を補完するデジタル教材や児童が自ら話したい・書きたいと思ったことを調べられる「Picture Dictionary」と呼ばれる絵辞典のような補助資料の充実等により、どの担任も安心して授業が展開できる無理のない授業構成であるという点である。

2点目。児童の学習動機や習熟の差についてであるが、児童の学習動機を高めるための工夫と、学習者が自律的に家庭学習を進められる音声・動画コンテンツが充実していること。教材全体においては、コミュニケーションを行う目的・場面・状況設定が明確であることや、それらが単元全体のストーリーに反映されていることが求められる。

3点目。5・6年生における学習活動の精選や第二言語習得の流れに沿った指導の充実についてであるが、学習指導要領に示されている4技能5領域の目標を達成することが可能かどうかということ。そのために、教える側の指導手順が明確であり、児童にとっては、見通しを持ちやすい学習過程であることが重要である。

4点目。小・中学校の系統的な指導についてであるが、小学校4年間の学習を中学校へ接続するため、文法や語彙・表現において系統的な指導ができること。また、登場人物や単元のストーリーにもつながりがあると、中学校での学びのスタートがより円滑なものとなる。

5点目。外国籍の児童が多く在籍している本市の特徴を受けて、世界各国の文化、芸術、スポーツ、食事、生活等、異文化理解につながる豊富な資料や情報があること。また、それらが、児童の興味関心を喚起するものであることが大切である。

菅原委員 今あげられた課題を解決する上で優れている教科書は、端的に言ってどの教科書だと言えるのか。

高宮専門委員 優れている教科書は東京書籍と光村図書の2社であると考ええる。東京書籍の「New Horizon」の特徴は次の3点である。各単元の3つのステップは、知識を習得して活用するまでの過程を段階的に積み上げられる構成となっていること。単元全体を通して、教科書に書き入れる活動が多く、語彙や表現などの知識や理解の定着が図られるよう工夫しているが、教員側の運用次第では、書くことの比重が強くなりすぎてしまうため、効果の有無は分かれること。「My Picture Dictionary」と呼ば

れる絵辞典には、47項目にわたる豊富な語句や例文が掲載されていることである。

もう1社は、光村図書の「Here We Go!」である。その特徴は次の3点である。どの単元もHop→Step→Jumpというスモールステップを経ているため、教える側の指導手順が明確であり、児童にとっては、見通しを持ちやすい学習過程であり、英語が苦手な児童も無理なく意欲的に学習に臨むことができること。単元全体が一貫性のあるストーリーで構成されており、コミュニケーションを行うための目的、必然性のある場面・状況が明確に設定されており、児童は英語を使う場面がイメージしやすく、自然な英語表現を身に付けるのに適していること。加えて、本市中学校で実施している教科書のストーリーを軸に学習を進める5ラウンドシステムとの効果的な接続につながることである。異文化や国際理解の視点が特徴的で、日本語、英語、中国語、韓国語の語順が紹介される等、英語に留まらない「外国語」という観点にも工夫がみられ、外国籍の児童が多い本市の実態と特色に適した支援となる。

専門委員会としては、以上のような点を鑑みると、光村図書が本市の実態に最も即した教科書といえると考えます。

井上教育長

他にご質問はあるか。

無いようなので、以上で外国語の質疑を終わり、採択に入る。

それでは、外国語の教科書を決定していきたい。何か意見はあるか。

齋藤委員

迷ったが、5・6年生で1つのストーリーが完結することで、子どもが参加している意識になることや、登場人物が同じで親しみを感じる。また、外国籍の子どもへの配慮もなされていることから、光村図書が良いと思う。

中田委員

光村図書を推薦する。教科書の構成や、状況設定が良く、本市の子どもたちに合っていると感じる。

宿谷委員

光村図書を評価する。教える側の手順が明確。英語が苦手な子どもも、無理なく学習に入れる。

菅原委員

英語について、小学校から系統的に指導する必要がある、それができる教科書であることから、光村図書を推す。

井上教育長

これまでの協議の内容や各委員のご意見から、外国語は光村図書を採択することに決定してよいか。

委員

(異議なし)

井上教育長

以上で、外国語についての協議を終了する。専門委員と事務局は退室を。
(外国語専門委員、事務局 退室)

井上教育長

それでは、特別の教科 道徳の専門委員・事務局の入室を求める。
(道徳専門委員、事務局 入室)

専門委員会として、各学校からの報告書並びに調査員からの報告書等の意

見を十分汲み取って検討されてきたと思うが、教育委員会としても学習指導要領の趣旨に則り、「児童にとって学びやすく、教員にとって指導しやすい」という観点でより良い教科書を選んでいきたいと考えている。

そこで専門委員・事務局に入室をお願いした。これから、特別の教科 道徳の教科書について、専門委員会の調査、分析等を説明いただいた上で、質問をさせていただく。それでは、報告をお願いします。

岡本専門委員 特別の教科 道徳科では、学習指導要領で示されている目標をはじめ、趣旨や要点を踏まえ、本市の児童の実態と課題である「自尊感情の低い児童が多い」ことと、「海外につながりをもつ児童数が多いこと」、そして「いじめ防止の視点に立った、自他を大切にする意識」などの視点から調査研究を行った。

では、各社の教科書について報告する。

東京書籍は、総合的に優れていて、バランスの良い教科書である。授業のガイドとなる「自己を見つめる」発問、発問例の数、教材冒頭の内容項目に関わるワードなどが適切であり、教員の経験や技量に捉われず、道徳科の特質を踏まえ、ねらいを明確にして、一定以上の質で授業が行われることが期待される。また、いじめに関する教材が明示されていて、教員には、ねらいとする道徳的価値と併せて、いじめ防止の意図を授業で取り入れることができる。

教育出版は、年間を通した内容項目のバランスや、学習の展開例に応じた教材の配列に配慮がなされている。現代的な課題について幅広く取り上げているほか、それぞれの教材で多面的な考えができるような発問づくりの手助けが用意されている。そして、他社と比べ、歴史上の人物や著名人に関する教材を、多く扱っている。また、授業者が教材研究を行う上で、中心発問や振り返りなど考えさせたい場面が明確であり、扱いやすい教科書と言える。

光村図書は、他社と比べて、道徳開きに活用するオリエンテーションの教材が充実しており、児童が年度初めに、これからの学習への期待感をもてるように工夫がされている。また、授業展開の中で、児童同士の話し合いや役割演技を促す工夫があり、いわゆる読み物道徳や登場人物の心情ばかりを問う発問だけに終始しないように配慮がされている。しかし、活動重視になるおそれもあり、本来の道徳科が目指すべきものを見失わないように授業者は意図を明確にもって活動を取り入れる必要があるとも言える。

日本文教出版は、教材冒頭のガイドが丁寧な作りであることに特徴がある。このことにより、教員がねらいを明確にすることができるとともに、児童にも、その教材で考えを深めていく道徳的諸価値についてわかりやすく提示されている。さらに、ページをきれいに開きやすいなど、製本や装丁がとても丁寧である。市内では、教科化されて以降、使用している教科書であり、各学校で教材研究が進んでいることは、やはり利点と言える。今回の採択で

は、付属するノートに変更があった。従来は、上下にある記述欄のうち、上段は書かせる内容が決まっており、授業づくりをガイドする役割を果たしていた。新たな付属のノートは上下段とも自由に記述できるようになっている。これにより、ガイド機能は薄まったが、授業者の展開に合わせた活用ができるようになった。

光文書院は、他社と比べ、各教材の最後に発問例等の授業ガイドが示されている丁寧な教科書である。ねらいについて深く考えることができる適切な発問が多く、経験が浅い教員でも、一定以上の質で授業を行えることが期待できる。また、各内容項目について、発達の段階に応じてそれぞれの教材が考えさせたいことが明確にわかる教科書である。このように、とてもわかりやすく、授業づくりがしやすい反面、教科書が示す発問だけに頼った授業になってしまうことが懸念される。さらに、本市の児童の課題に関わる内容項目の教材について、他社よりも多く掲載されている。しかし、その他の教材は、市内の教員に馴染みの少ない教材が多く、授業者の立場に立つとやや扱いづらいことが懸念される。

学研は、総合的に優れていて、バランスの良い教科書である。本市の課題に関連する内容項目の教材が充実していること、表紙や写真、レイアウトも含めて見やすくわかりやすい工夫がなされていることから、思わず手に取りたくなる教科書である。全学年に多数示されている「心のパスポート」のページでは、現代社会で児童の身近に起こり得る場面を取り上げ、役割演技や漫画の資料などで、児童自身が自分事として考えを深めることができるよう工夫がなされている。他社と比べて、より今の児童の実態に即した内容が充実していると言える。掲載されている教材は長年親しまれてきたものから、現代社会の課題や傾向にあった教材まで幅広く扱っており、それぞれの道徳的諸価値について理解したり、多面的・多角的に考えたりすることができる工夫も見られる。

以上の各社の特徴を比較し、総括すると、各社ともに学習指導要領の趣旨や要点を押さえつつ、ねらいを明確にした授業づくりや、児童が多面的・多角的に考えることができる工夫がそれぞれに見られた。その中で、調査委員会の中では冒頭で述べた本市の実態と課題に即して、「現代的な諸課題について考えさせる内容が充実しているか」「本市の児童の実態にあった教材が充実しているか」「教員にとって扱いやすい教材になっているか」「表記や挿絵の適当さ」に重点を置き調査研究を行い、本市児童にとって一番適している教科書を検討した。

井上教育長
宿谷委員
岡本専門委員

ただいまの報告について、質疑を行う。質問はあるか。

道徳の採択において、前回と比べ、どのような点が変わっているのか。

前回の採択と比べ、今回は2社減少して全6社の教科書の中から検討を行った。各社ともに「いじめの防止」や「現代的な課題」を意識した教材の入

れ替えや授業づくりにおける工夫がみられた。

- 宿谷委員 道徳における川口市の児童の実態と課題は。
- 小山指導主事 道徳科における本市の児童の実態と課題は主に、「自尊感情の低い児童が多い」ことと、「海外につながりをもつ児童数が多いこと」、そして「いじめ防止の視点に立った、自他を大切にす意識」の重要性などが挙げられる。
- 宿谷委員 その本市の実態と課題を踏まえると、どのような教科書が適しているのか。
- 岡本専門委員 道徳科の内容項目としては「よりよく生きる喜び」、「希望と勇氣」、「国際理解・国際親善」、そして「現代的な課題」の内容を取り扱う教材が充実している教科書が、本市の実態と課題にあったものと捉えている。
- 中田委員 今の重点として挙げられた項目が充実している教科書はどれか。
- 岡本専門委員 どの教科書も学習指導要領の内容に則って作成されているが、特に「国際理解・国際親善」では学研と光文書院の2社、「よりよく生きる喜び」、「希望と勇氣」では学研と東京書籍、光村図書の3社について、内容が充実していた。
- 中田委員 先ほど重点として挙げた「現代的な課題」とは具体的にはどのような課題なのか。おそらく、数多くあると思われるが、特に重視したものがあれば教えてほしい。
- 岡本専門委員 「現代的な課題」とは、学習指導要領にも示されているが、情報モラルをはじめ、国際理解教育、食育、防災教育、消費者教育、キャリア教育など、多岐にわたる。調査員会では、これらの諸課題を総合的に検討した。その中でも、情報モラルについて重点を置いて検討した。
- 中田委員 その「現代的な課題」についての内容が充実している教科書はどれか。
- 岡本専門委員 情報モラルについては、学研が最新の内容を網羅しており、児童の身に実際に起こり得る、児童がイメージしやすい教材が充実していた。他の視点ではどの会社にも一長一短あるが、「国際理解教育」では学研と光文書院、東京書籍の3社、「キャリア教育」では光村図書と学研の2社、「食育」については日本文教出版がそれぞれ充実していた。また、教育出版、光村図書、日本文教出版の3社については、SDGsについての記載もあった。
- 菅原委員 学習指導要領では、「いじめ問題への対応の充実」が重要であるとされているが、この点で優れている教科書はどれか。
- 岡本専門委員 いじめ問題の対応については、東京書籍と学研の2社の教科書が優れていた。東京書籍は独立した形でわかりやすくいじめについて考えさせる教材が充実している。学研は独立した教材ではないが、その時間に取り扱う内容項目について学ぶ中で、自然といじめについて深く考えさせる工夫がなされている。
- 菅原委員 現在、本市で使用中的日本文教出版の教科書に付属している、別冊ノートの書式が変わったとのことだが、どのような影響が考えられるか。
- 岡本専門委員 現行の付属ノートは上下の記述欄の内、上段に書かせる内容が明記されて

おり、経験の浅い教員や不慣れな教員にとっては、授業のガイドとして機能していた一方で、「書かせる内容があらかじめ決まっているため、使いにくい」との声があった。今回の付属ノートは上下段とも自由に記述できる枠となり、シンプルで授業者の意図に応じて多様な活用ができるようになった。

井上教育長 問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習などについて工夫されている教科書はどれか。

岡本専門委員 どの会社にも工夫が見られたが、特に光村図書、日本文教出版、学研の教科書に工夫が見られた。光村図書は3ステップによるわかりやすい展開の工夫、日本文教出版は思考ツールの効果的な提示、学研は役割演技の工夫や内容項目に関連した情報や資料の掲載にそれぞれ特徴があった。

井上教育長 子どもたちが自分の命を守ることは特に重要だが、いじめ問題以外にも特に生命の尊さについて児童に真剣に考えさせる必要があると思う。生命の尊さについては、どの教科書が優れているのか。

岡本専門委員 「生命の尊さ」については、どの会社も力点を置いている。その中でも学研、光村図書、日本文教出版については、発達の段階に応じて、生命を様々な角度や視点から見つめる教材が用意されており、多面的・多角的に考えていくための工夫が見られた。

齋藤委員 学校からの調査報告書を見ると、特に日本文教出版の教科書の評価が高いように思う。一方で、調査員報告では学研を高く評価しているようだが、それぞれどのような特徴があるのか。

岡本専門委員 日本文教出版は現在使用している教科書であり、現場の教員にとっては馴染みのあるものである。また、教材研究もそれぞれの学校で進んでいることから、やはり使いやすい教科書であることは確かであり、教科書自体も作りが丁寧で見やすいという特徴がある。ただ、付属ノートについては意見が割れている。

学研は、教材のバランスがよく、長く親しまれたものから、現在活躍しているスポーツ選手や著名人の生き方について書かれたものなど、工夫が見られる。挿絵の位置や字の大きさなどにも配慮がなされ、全体的に見やすい作りである。また、教科書を開いたときに、必ず右側のページから教材がはじまるので、その教材に集中しやすい点でも工夫がある。

齋藤委員 日本文教出版、学研、光文書院、東京書籍に同じ内容の教材があると思うが、同じ教材に対して各社の違いはあるか。

岡本専門委員 4社とも共通していた教材、低学年の「かぼちやのつる」、高学年の「ブランコ乗りとピエロ」を比較検討した。

低学年の「かぼちやのつる」について、日本文教出版は文章と挿絵の構成で掲載されていた。一般的な構成であるが、挿絵のかぼちやの表情は他社と比べて一番小さく書かれており、挿絵の表情から理解を深める低学年児童には、やや捉えにくいと思われる。光文書院は紙面一杯に挿絵が描かれ、かぼ

ちゃや、はち、ちょうなどのセリフが吹き出しに書かれている。

東京書籍と学研はマンガのコマ割りのような形式で掲載しており、その場面ごとの発言や心情について集中して考えることができるつくりになっている。東京書籍は最後のトラックが登場する場面は挿絵が大きく、話の結末を印象付ける工夫がみられた。

学研は東京書籍に比べ、明るいトーンで描かれている。かぼちゃの表情から心情の変化が理解しやすい挿絵である。また、かぼちゃの発言と、はちや、ちょう、犬たちの発言がそれぞれわかるように、吹き出しに薄い背景色をつけて視覚的に工夫されている。結末は文章でしっかり書くことで、かぼちゃの言動がどんな結末になってしまったのか、わかりやすくしている。

高学年の「ブランコ乗りとピエロ」では4社ともに文章自体は同じだが、読みやすさや場面絵になる挿絵の数、それが児童に与える印象などに違いがみられた。

光文書院は挿絵の数が最も少なく2枚のみだった。行間が大きくとられており、読みやすい構成である。

東京書籍は3枚の挿絵があり、教材の構成としては他の教材と比べても大きな差はなく、一般的な形式である。絵のトーンは全体的にやや暗いものだった。なお、6年生で扱われることの多い教材だが、4社の中では唯一、5年生に掲載されている。

日本文教出版の挿絵も3枚で、一般的な形式である。それぞれの場面が印象的になるように絵の配置や大きさなどにも工夫が見られる。特に1枚目の挿絵は印象的で目に入りやすい。反面、文章のそれぞれの行頭がずれていってしまい、やや読みにくくなっている。

学研の挿絵は最も多く5枚ある。発問の土台となり得る場面でそれぞれ挿絵があり、授業者にとって扱いやすいものである。ページ数は最も多く6ページ分になるが、文章量は他の教科書と変わらない。挿絵の数と大きさ、読みやすくするための行間の広さに配慮しているからである。更に、本文の下端に注釈があり、サーカスを舞台にした物語の状況について児童が理解できるよう工夫がある。この注釈は、他社にはなかった。

井上教育長

他にご質問はあるか。

無いようなので、以上で特別の教科 道徳の質疑を終わり、採択に入る。

それでは、道徳の教科書を決定していきたい。何か意見はあるか。

宿谷委員

日本文教出版を評価する。その理由として、現在使用しており、馴染みがあること、丁寧で見やすいこと、多面的、多角的に考えることができることからである。

菅原委員

学研を推す。情報モラルについてや、国際問題を扱った教材は、外国籍の児童が多い本市には必要であり、他にも、命を大切にすることや、いじめについて扱った教材のバランスが良いためである。

齋藤委員 日本文教出版が良い。教員が使い慣れているとともに、奥が深い道德において、研究がよりなされている日本文教出版が良いと思う。

中田委員 学校が慣れていて使いやすくなっていることから、日本文教出版を推薦する。付属のノートについては、変更後のものを、改めて使って欲しい。

井上教育長 これまでの協議の内容や各委員のご意見から、日本文教出版を推す声が多いようだが、特別の教科 道德は日本文教出版を採択することに決定してよいか。

委 員 (異議なし)

井上教育長 以上で、特別の教科 道德についての協議を終了する。専門委員と事務局は退出を。

(道德専門委員、事務局 退室)

井上教育長 それでは、議案第100号「令和6年度使用小学校教科用図書の採択について」の協議が終了したので、採択した教科書の確認をする。

すべての小学校の教科書については、

国語・・・光村図書

書写・・・光村図書

社会・・・東京書籍

地図・・・帝国書院

算数・・・東京書籍

理科・・・東京書籍

生活・・・光村図書

音楽・・・教育芸術社

図画工作・・・開隆堂

家庭・・・東京書籍

体育(保健)・・・東京書籍

外国語・・・光村図書

特別の教科 道德・・・日本文教出版

ということになった。

以上で、議案第100号「令和6年度使用小学校教科用図書の採択について」を可決する。

7 その他 なし

8 閉会

井上教育長 以上をもって本日の教育委員会定例会を閉会する。(午後4時11分)